

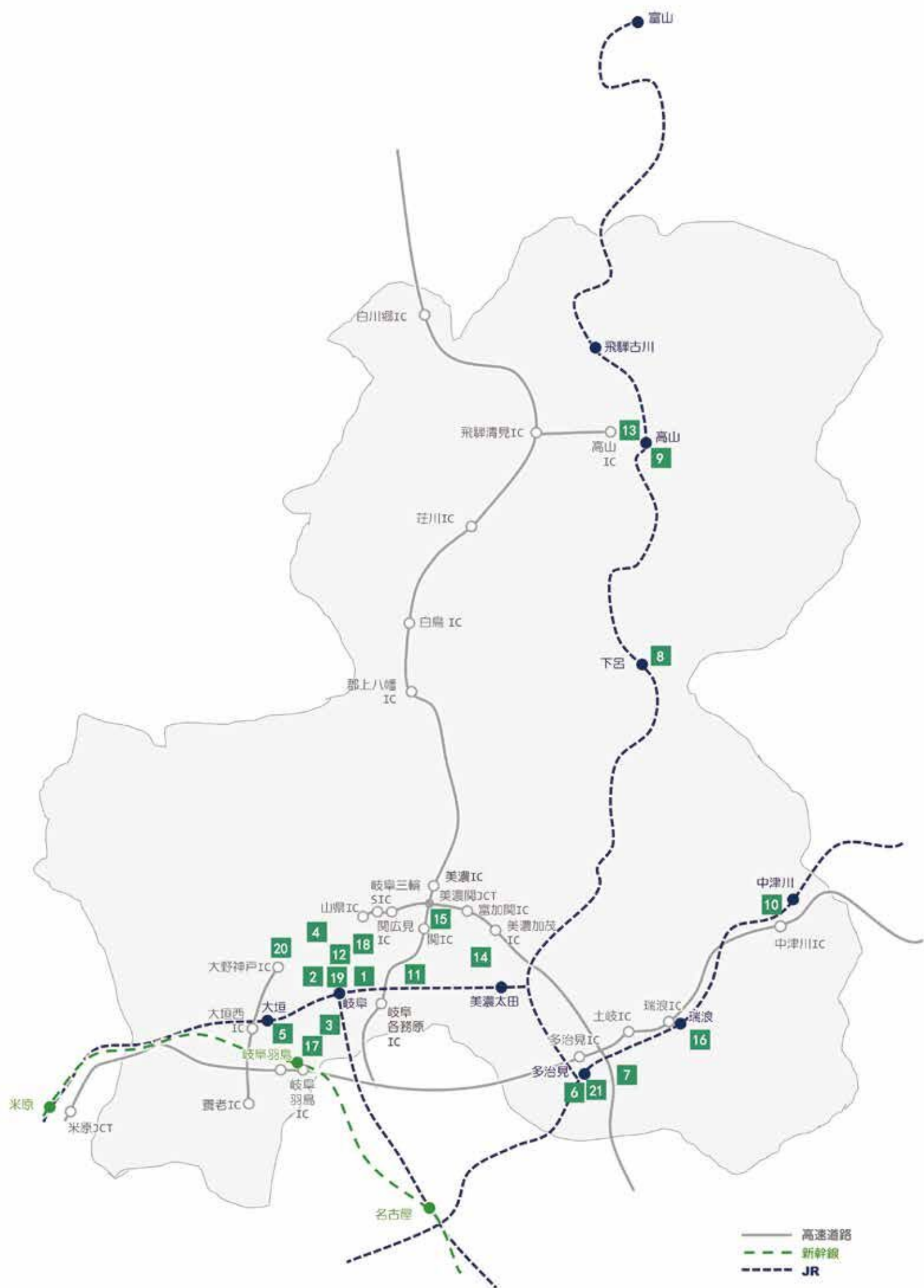
岐阜県

# 臨床研修 病院案内

2024版

岐阜県臨床研修病院協議会







## 目次

---

1	地方独立行政法人岐阜県総合医療センター	2
2	岐阜市民病院	4
3	社会医療法人蘇西厚生会松波総合病院	6
4	国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学医学部附属病院	8
5	大垣市民病院	10
6	地方独立行政法人岐阜県立多治見病院	12
7	岐阜県厚生農業協同組合連合会 東濃中部医療センター土岐市立総合病院	14
8	地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院	16
9	高山赤十字病院	18
10	総合病院中津川市民病院	20
11	公立学校共済組合東海中央病院	22
12	岐阜赤十字病院	24
13	岐阜県厚生農業協同組合連合会飛騨医療センター久美愛厚生病院	26
14	社会医療法人厚生会中部国際医療センター	28
15	岐阜県厚生農業協同組合連合会中濃厚生病院	30
16	岐阜県厚生農業協同組合連合会東濃厚生病院	32
17	羽島市民病院	34
18	独立行政法人国立病院機構長良医療センター	36
19	朝日大学病院	38
20	岐阜県厚生農業協同組合連合会岐阜・西濃医療センター西濃厚生病院	40
	※2023年10月に揖斐厚生病院から新築移転します	
21	多治見市民病院	42

※この冊子は2023年6月現在でとりまとめたものです。  
最新の情報は各病院にお問い合わせください。

# 岐阜県総合医療センター

## 病院の概要

**開設時期**：昭和28年7月1日  
**院長**：地方独立行政法人岐阜県総合医療センター  
**開院**：桑原 尚志  
**標榜**：620床  
**科**：総合診療科、膠原病科、内科、臨床栄養科、消化器内科、消化器内視鏡科、肝臓内科、胆膵内科、呼吸器内科、呼吸器内視鏡科、腎臓内科、脳神経内科、糖尿病・内分泌内科、血液内科、感染症内科、外科、消化器外科、内視鏡外科、肝胆膵外科、乳腺外科、呼吸器外科、胸部外科、脳神経外科、脳血管内治療科、脳腫瘍治療科、整形外科、脊椎脊髄外科、泌尿器科、泌尿器内視鏡科、前立腺治療科、婦人科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、眼科、皮膚科、形成外科、麻酔科、小児麻酔科、産科麻酔科、ペインクリニック科、放射線科、放射線診断科、放射線治療科、消化器画像診断科、核医学診療科、精神科、リハビリテーション科、心臓リハビリテーション科、東洋医学科、臨床検査科、病理診断科、遺伝子病理診断科、歯科口腔外科、口腔腫瘍科、遺伝子診断科、救急科、脳卒中治療科、循環器内科、高血圧科、不整脈科、心血管カテーテル治療科、睡眠時無呼吸科、成人先天性心疾患診療科、心臓血管外科、産科、胎児診療科、成育医療科、新生児内科、小児科、小児感染症内科、小児腎臓内科、小児療育内科、小児循環器内科、小児外科、小児心臓外科、小児脳神経外科、小児救急科、緩和医療科

**医師数**：204名  
**指導医師数**：82名  
**外来患者数**：1,421名/日  
**入院患者数**：488名/日  
**所在地**：岐阜市野一色4-6-1  
**URL**：https://www.gifu-hp.jp



## 病院の特徴

岐阜県総合医療センターは、平成18年11月に新病院を開院し、電子カルテを中心としたトータルインテリジェントホスピタルとして生まれ変わりました。プライマリケアの修得については、救命救急センターでの研修や ACLS 研修等、救急に強い医師を育てる努力をしています。さらに、小児科系スタッフは35名在籍し、充実した小児科研修が受けられます。また、平成19年3月より特定非営利活動法人卒後臨床研修評価機構による第三者評価の認定を受けています。

## 院長メッセージ



桑原尚志

当センターは地域の医療を守るためにいつでも対応できる高水準の「ことわらない医療」を提供します。急性期医療を中心とした臨床研修において、基幹病院としての高度で専門的な医療チームを活用しつつ、基本的な診療態度・技能・知識を身につけ、患者やその家族の心を理解する医療を行える医師に成長できます。皆さんが笑顔で研修を続けられることがスタッフにとってなによりの喜びです。病院見学は随時受け付けています。実際にその目で病院を見て、指導医に会い、先輩研修医の意見も聞いてぜひ当センターを選んでいただきたいと思います。

## 指導医メッセージ

当センターは、救急医療から高度専門医療まで行う総合医療センターであることを活かし、一貫性のあるシステムで実力のある医師の育成を目指しています。地域医療の基幹病院・急性期中核病院として期待され、それに対応し得る ER 体制、各専門分野での高度・先端医療は、ともに初期研修医には最高の環境です。研修期間では悩み、迷うことも多いでしょう。しかし当センターにはそれを乗り越えてきた後期研修医がたくさんいます。熱い指導医と兄貴分の後期研修医があなたをしっかりサポートします。医師としても社会人としても尊敬される医師の養成を目指します。多くの皆さんのご応募を心からお待ちしています。

## 研修医メッセージ

当センターでは経験できる症例と手技がとても多いです。救急外来では研修医が主体となって医療を行うことができます。さらに全ての症例を上級医がチェックをしてくれ、当直の最後にはフィードバックをさせていただきます。やりっぱなしの当直、放ったらかしで不安な当直はありません。また、働き始めて3ヶ月であっても試験をクリアすれば上部消化管内視鏡や単経ヘルニア手術を行うこともできます。切磋琢磨し合える同期が多いのも楽しい研修生活が過ごせている一因でしょう。日々充実した研修生活を送りたい皆さん、ぜひ当院と一緒に働きましょう。

## 研修スケジュール

- ・1年次の臓器別ローテーションは循環器4週(循環器内科、心臓血管外科)、呼吸器6週(呼吸器内科、呼吸器外科)、消化器10週(消化器内科、外科)で構成され、選択研修は内科12週(糖尿病・内分泌内科、総合診療科、脳神経内科、腎臓内科、感染症内科から3科選択)、選択(整形外科、泌尿器科、脳神経外科、麻酔科、精神科、小児科、心臓血管外科から1科選択)となります。
- ・2年次の自由選択(36~40週)では、スムーズに専門研修につながるよう、単独または関連した複数の診療科を24週以上選択します。
- ・救急研修は1年次4週、2年次4週と救急当直研修36回以上(月3回程度×12ヶ月)とにより行います。
- ・一般外来研修は小児科1週間、内科系診療科1週間、地域医療研修2週間により行います。

1年次	4週	6週	10週		12週	4週	4週	4週	8週
	循環器	呼吸器	消化器		内科選択	救急	産婦人科	麻酔科	選択
2年次	4週	4週	4週	4週	36週				
	救急	地域	(精神科)	(小児)	自由選択				

## 研修協力病院・施設

岐阜大学医学部附属病院	公益社団法人岐阜病院	岐阜保健所
岐阜県立下呂温泉病院	岐阜県赤十字血液センター	揖斐郡北西部地域医療センター
県北西部地域医療センター国保和良診療所	東白川村国民健康保険診療所	下呂市立金山病院
市立恵那病院	国民健康保険上矢作病院	中津川市国民健康保険坂下診療所
高山赤十字病院	久美愛厚生病院	郡上市民病院
総合犬山中央病院	和光会 山田病院	朝日大学病院
岐阜赤十字病院	各務原リハビリテーション病院	聖徳会 小笠原内科・岐阜在宅ケアクリニック
市立美濃病院	みながわ内科・循環器内科クリニック	飛騨市民病院
高山市国保朝日診療所	高山市国保久々野診療所	高山市国保荘川診療所
高山市国保清見診療所	下呂市立小坂診療所	てらしまクリニック
滝谷医院	みどり病院	県北西部地域医療センター国保白鳥病院
県北西部地域医療センター国保高鷲診療所	県北西部地域医療センター白川村国保白川診療所	高山市国民健康保険高根診療所

## 後期研修・専門研修(予定)

当センターでは基幹施設として内科と小児科と整形外科の専門研修プログラムを有し、豊富な臨床経験を持つ指導医の適切な指導の下で、必要な知識と技能を修得します。また、内科・小児科・整形外科以外についても、多くの診療科が連携施設として専攻医の受け入れを行います。詳しい研修プログラム内容等につきましては、当センターのホームページをご覧ください。

## 研修プログラムの目標

将来専攻する診療科にかかわらず臨床に必要な基本的診療能力を習得し、遭遇しうる如何なる状況においても高質な全人的医療を行えるようにする。

## 研修プログラムの特徴

当院は「断らない医療」をモットーとしており、一次救急からCPAまで多くの幅広い患者を受け入れており、多様な症例を経験できます。指導医が多くきめ細かい指導を受けることができるのも大きな特徴です。

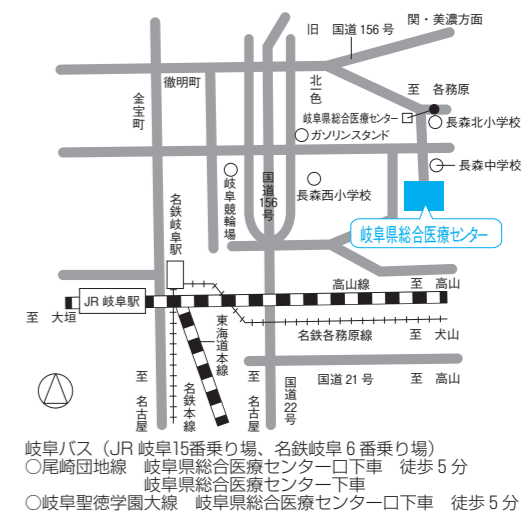
## 募集要項

応募資格：令和7年3月に医師免許を取得する見込みである者。  
募集人員：16名(予定)  
身分：非常勤医師  
給与：月額約50万円※諸手当、賞与等含む  
住居：等：医師住宅なし(住居手当あり)  
保険：等：健康保険、厚生年金有り、労災有り

## 連絡先

電話番号：058-246-1111  
fax：058-248-3805  
E-mail：info@gifu-hp.jp

## 交通案内



岐阜バス (JR岐阜15番乗り場、名鉄岐阜6番乗り場)  
○尾崎団地線 岐阜県総合医療センター口下車 徒歩5分  
岐阜県総合医療センター下車  
○岐阜聖徳学園大線 岐阜県総合医療センター口下車 徒歩5分



# 岐阜市民病院

## 病院の概要

開設時期：昭和16年12月15日  
開設者：岐阜市長 柴橋 正直  
院長名：山田 誠  
病床数：565床  
標榜科：内科、糖尿病・内分泌内科、精神科、脳神経内科、呼吸器・腫瘍内科、消化器内科、血液内科、循環器内科、腎臓内科、小児科、外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科、歯科、歯科口腔外科

医師数：143名  
指導医師数：78名（臨床研修指導医講習会修了者）  
外来患者数：1,169名／日  
入院患者数：449名／日  
所在地：岐阜市鹿島町7-1  
URL：http://gmhosp.jp/



## 病院の特徴

当院は、「心にひびく医療の実践」を基本理念としている。多職種間のコミュニケーションが良好で「チーム医療」のやりやすさにもつながっている。多くの分野において本邦でもトップレベルの高度先進医療を体感でき、臨床、教育、研究、学会発表などを積極的に行っている。また、地域医療支援病院、災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院などの指定を受けており、市民に愛される身近な病院でありながらも、中核病院として、岐阜地域の医療に貢献している。

## 院長メッセージ



山田 誠  
(外科)

当院はDPC特定病院群(大学病院に準ずる病院)の指定を受け、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、災害拠点病院、がんゲノム医療連携病院等にも指定され、地域で高度急性期医療を担う中核病院としての役割を担っています。機能に見合う十分な実績もあり、充実した臨床研修が可能な環境が整っています。

そして、手術支援ロボット(ダビンチXi)等の高度医療機器も完備しており、各分野の専門医も多数在籍しておりますので、先端医療の研修に関しても充分期待に応えられると考えています。

そして、院内では職員の親睦を深めるためのイベントも多く開催され、研修医にも好評でした。残念ながらコロナ禍で中止となっていましたが、今年度からは職員親睦の重要な機会として徐々に再開していきたいと考えております。当院研修医の声もホームページに掲載していますので、是非参考にさせていただき、志高い多くの皆さんが当院に臨床研修に来ていただけることを心よりお待ちしております。

## 指導医メッセージ

平成16年度から開始された研修医制度も20年目を迎え、当院では193名が初期臨床研修を修了して巣立ち、各領域で活躍しております。そして、令和5年4月は岐阜大学からのたすき掛け1名を含む16名の新研修医を迎えてスタートしました。当院では、岐阜市民病院臨床研修の理念と基本方針を掲げ、社会人として医師として社会に貢献できる人材の育成に心掛けてまいりました。そのために、卒後臨床研修評価機構の認定を受けて外部の評価を取り入れながら、また研修医や研修修了後の若手医師の意見も聞きながら、より充実した研修環境の整備と研修プログラムの改善に研修管理委員会を中心として常に取り組みんでいます。

## 研修医メッセージ

当院の研修の特徴は、救急プログラムにおいて、1年目、2年目が同時に回ることで屋根瓦式に知識を深めることができます。また、選択制ですが、1年目から脳外、整形、泌尿器、耳鼻、小児、産婦人科を回るため、救急で診るような緊急疾患について早い段階から対応できる知識・技能を身につけることができます。さらに夜間休日の救急外来において、指導医・上級医の指導の下全ての患者を自分で診察し、検査・治療をオーダーします。全例上級医がコンサルトしますので、困ったときや分からない時のフォロー体制が整う中でスキルアップが図れます。当院の先生方、看護師さんは非常に優しく、スタッフとのイベントも色々あります。夏休みを取得することもできますので、仕事もプライベートも充実した研修生活を送りたい方はぜひ来てください！

## 研修スケジュール

プログラム	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
⑦ 1年次	内科系 <sup>※1</sup> 26週						外科系 <sup>※2</sup> 4週 小児科4週 救急4週 麻酔4週 選択 <sup>※3</sup> 6週					
2年次	産婦人科4週	精神科4週	救急4週	地域医療4週	一般外来4週	自由選択30週						

備考 ※1 消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、血液内科、総合内科を各4週、脳神経内科と腎臓内科を各3週の内計26週  
※2 外科4週、呼吸器外科・心臓血管外科か乳腺外科のいずれかを2週選択の内計6週  
※3 脳神経外科、整形外科、泌尿器科、耳鼻いんこう科、産婦人科から2週単位で計6週選択  
\*救急研修を1・2年次に屋根瓦方式で段階的に研修、一般的疾患から専門性の高い疾患まで幅広い対応力を修得できる

## 研修協力病院・施設

協力型臨床研修病院	岐阜県立下呂温泉病院	
岐阜大学医学部附属病院		
臨床研修協力施設		
国保坂下診療所	県北西部地域医療センター国保和良診療所	下呂市立金山病院
国保上矢作病院	岐阜市保健所	岐阜県赤十字血液センター
美濃市立美濃病院	下呂市立小坂診療所	高山市国保久々野診療所
東白川村国保診療所	高山市国保荘川診療所	高山市国保清見診療所
高山市国保朝日診療所	郡上市市民病院	鷺見病院
揖斐郡北西部地域医療センター	県北西部地域医療センター国保白鳥病院	県北西部地域医療センター国保高鷲診療所
県北西部地域医療センター国保白川診療所	高山市国保高根診療所	飛騨市市民病院
シティ・タワー診療所	医療法人かがやき 総合在宅医療クリニック	あんどう内科クリニック
操外科病院	矢嶋小児科小児循環器クリニック	

## 後期研修・専門研修(予定)

岐阜市民病院では内科において基幹施設となっております。  
内科以外の診療科においても、連携施設として積極的に専攻医の受け入れを行います。

## 研修プログラムの目標

医師としての基本的価値観を自らのものとし、基本的診療業務ができるレベルの資質・能力を修得することを目標としています。臨床における幅広い知識・技術を習得し、社会人として地域医療に貢献できるような、あるいは最先端の知識や技量を身につけ医療の進歩に貢献できるような医師を育てる研修を目指しています。

## 研修プログラムの特徴

市中中核病院ならではのCommon Diseaseから専門疾患まで広く実践的な研修が可能です。救急研修では、1年目と2年目の屋根瓦方式で行い、段階的に救急の知識・技術を研修する体制としています。さらに1年目の時点で、救急で遭遇することが多い専門科目(脳神経外科、整形外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、産婦人科)を選択必修、小児科を必修としているため、幅広く救急に対応するための知識・技術が習得できるようにしています。

## 募集要項

応募資格：令和7年3月に医師免許を取得する見込みである者  
医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者

募集人員：16名(予定)

身分：非常勤嘱託員

給与：与：年額約7,000,000円(令和4年度実績)(諸手当含む。当直回数等で変動あり)

住居：等：あり(約19,000円～約25,000円。令和4年度実績)

保険：等：共済保険・厚生年金加入、公務災害補償有、医師賠償責任保険は病院で加入

## 連絡先

電話番号：058-251-1101  
fax：058-252-1335  
E-mail：c.kensyu01@gmhosp.gifu.gifu.jp

## 交通案内



JR岐阜駅、名鉄岐阜駅からバスで約15分

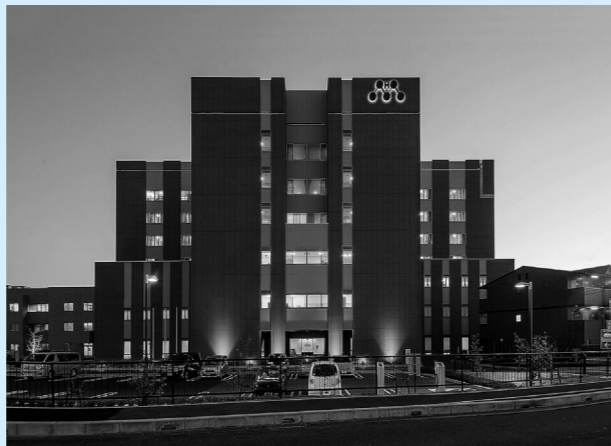


# 社会医療法人蘇西厚生会松波総合病院

## 病院の概要

開設時期：昭和8年  
開設者：社会医療法人蘇西厚生会 理事長 松波 英寿  
院長名：松波和寿  
病床数：501床  
標榜科：内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液・腫瘍内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、脳神経内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺外科、肛門科、整形外科、脳神経外科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、リウマチ科、小児科、皮膚科、麻酔科、精神科、救急科、歯科口腔外科

医師数：160名  
指導医師数：61名（臨床研修指導医講習会修了者数）  
外来患者数：約487名／日（まつなみ健康増進クリニックと合計して約882名／日）  
入院患者数：423名／日  
所在地：羽島郡笠松町田代185-1  
URL：http://www.matsunami-hsp.or.jp/recruit/doctor/



## 病院の特徴

愛知県と川を挟んだ岐阜県南部に位置して名古屋駅までは最寄り駅から30分の距離です。病床数は501床で地域の急性期医療から慢性期医療までを担っております。当院はノースウイング（北館）、サウスウイング（南館）から成り立ち、ノースウイングの病床機能としては、一般病床に加え、手術室8室（内1室はハイブリッド手術室）、ICU8床、HCU20床などの高度急性期医療にも対応出来る施設や、ダウインチXをはじめとする最新鋭の医療機器、ヘリポートを整備しています。通常の高度な医療のみならず、救急医療や災害医療にも迅速に対応できる体制を確立しています。サウスウイングは、比較的長期の医療を担う一般病棟、回復期リハビリ病棟、地域包括ケア病棟、障がい者病棟を有し、急性期以後の医療、外来機能としては、人工透析センター、ペインクリニックなどを提供しています。

## 院長メッセージ



松波和寿

当院は岐阜市の南部に近接し、病床数501床、診療科30科を有する地域中核病院です。フットワークの良い安全で効率的な医療をモットーとし、種々の急性期医療を重点的に担っており、年間手術約3,944件、救急車搬送患者約3,200件の実績があります。各分野の専門医を数多く有し、新専門医制度では、内科、産婦人科、麻酔科、総合診療においては基幹施設となり、Subspecialty学会（日本消化器学会、日本循環器学会、日本呼吸器学会等）、多領域横断的関連学会（日本超音波医学会、集中治療学会等）等の約40医学会の専門医研修指定病院となっております。平成16年から厚生省（当時）の卒後臨床研修病院であり、これまで全国から多くの研修医を受け入れてきました。また、平成20年3月から卒後臨床研修評価機構の基準を満たした研修病院として認定されています。2018年2月に最高評価のエクセレント賞を岐阜県内初受賞。2023年の更新調査時にも続けてエクセレント賞を受賞しました。臨床研修医にとってはプライマリ・ケアから専門医療まで十分満足のいく研修体制をとっている病院であると自負しております。是非当院での卒後臨床研修を受けてみてください。

## 指導医メッセージ

初期研修は、その医師の生涯にわたる診療姿勢を決定する上で重要です。患者とその家族に全人的な対応ができる医師となるために、自分は何をしたらいいのかを、毎日の多忙な日々の中から見つけていただきたい。医療にはさまざまな問題が山積みされています。最先端医療も大切ですし、末期医療、療養医療も大切です。医学部在籍中には、十分経験することができなかった多くの切実な問題に直接ぶつかり、現在の医療に対する問題点を十分考えていただきたい。「走りながら考える」、まさしくこの言葉通りに臨床研修を意義あるものにしていただきたいと願っています。

当院の臨床研修の特徴は、501床の急性期病院で常勤医160名、うち指導医61名の構成でありながら、研修医定員が各学年12名と少なく屋根瓦方式やマンツーマンによる研修が行えることです。地域完結型医療をめざし、地域連携医と一緒に地域診療ネットワークをつくり、連携パスのもと、急性期医療、介護医療を行っています。当院での初期研修システムもこのなかに組み込まれ、現実に即したプライマリケアができる医師の養成をめざしています。

## 研修医メッセージ

当院での研修の魅力の一つとして、充実かつ自由度の高い研修プログラムがあります。1年次ではさまざまな研修が出来ます。2年次は比較的自由な選択が出来るため、後期研修を見据えたスケジュールを立てることも可能です。少人数の研修医であるため手厚い指導を受けられます。さらに、医局と研修医室が一体であり、休憩時間にも先生方と気軽に話し合うことも出来ます。

また、毎週火曜～金曜の早朝に研修医のための朝カンファレンスがあるのも当院の魅力です。症例プレゼンや論文発表を研修医が行い、先生方からアドバイスをいただけます。

私は当院で研修して1年経ちますが、素晴らしい研修を受けていると実感しています。そんな研修を受けてみたいと感じたあなた、気軽に病院見学にお越し下さい！

## 研修スケジュール

	1クール	2クール	3クール	4クール	5クール	6クール	7クール	8クール	9クール	10クール	11クール	12クール	13クール
1年次	選択必修		内科					救急	麻酔	外科	産婦		
2年次	内科	産婦	小児	地域	救急	自由選択							

※1クール4週間

※3クール目から、内科、小児科、地域ローテート時に一般外来研修実施

## 研修協力病院・施設

岐阜南病院	まつなみ健康増進クリニック
鷺見病院	松波総合病院介護老人保健施設
総合在宅医療クリニック	岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター
郡上市民病院	県北西部地域医療センター国保和良診療所
岐阜県総合医療センター	県北西部地域医療センター国保白鳥病院
県北西部地域医療センター国保高鷲診療所	県北西部地域医療センター白川村国民健康保険白川診療所
高山市国民健康保険荘川診療所	美濃病院
岐阜病院	

## 後期研修・専門研修（予定）

内科・産婦人科・麻酔科、総合診療プログラムで基幹施設となっているので、初期研修に引き続いて研修可能。その他診療科においては、各大学病院プログラムの連携施設となっているので初期研修に引き続いて当院で1年間研修可能。現在20名の専攻医が在籍しています。1～2学年上の医師が多く相談しやすく、活気があり初期研修後の目標となります。

内科	外科	脳神経外科	整形外科	形成外科	麻酔科	病理	放射線	小児科	産婦人科
○	▲	▲	▲	▲	○	▲	▲	▲	○
泌尿器	救急	耳鼻咽喉科	総合診療科	眼科					
▲	▲	▲	○	▲					

○：基幹施設 ▲：連携施設

## 研修プログラムの目標

プライマリ・ケアを最重点にローテート方式により、各科にわたる基礎的な診療についての知識と、技術応用力及び医師（職業人）としての態度を身につける。

## 研修プログラムの特徴

当院は二次救急を主体とした救急医療や、総合内科を中心としたプライマリ・ケア、外科では手術支援ロボットなど最新の技術を学べます。選択で8クール選べて、一人一人に合わせた研修が可能です。

## 募集要項

応募資格：令和7年3月に医師免許を取得する見込みである者  
医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者

募集人員：12名

身分：常勤

給与：与：551,666円/月（1年次）・595,000円/月（2年次）、（賞与1年次810,000円、2年時1,080,000円）、当直（平日・土曜日1回/週）、日直（日曜日：各1回/月）

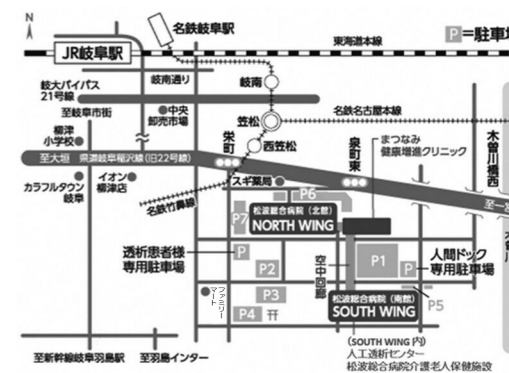
住居等：単身用あり、住宅手当あり（要相談）

保険等：政府管掌健康保険、厚生年金、労災保険適用

## 連絡先

担当者：臨床研修医室 林 幸太郎（ハヤシ コウタロウ）  
電話番号：058-388-0111  
fax：058-388-4711  
E-mail：kotarohayashi1115@gmail.com

## 交通案内



名鉄名古屋本線 笠松駅から徒歩約15分、車で約5分



# 国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学医学部附属病院

## 病院の概要

**開設時期** : 平成16年5月20日

**開設者** : 国立大学法人東海国立大学機構 機構長 松尾 清一

**院長名** : 秋山 治彦

**病床数** : 614床

**標榜科** : 内科、循環器内科、消化器内科、精神科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、消化器外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、矯正歯科、小児歯科、麻酔科、救急科、病理診断科、リハビリテーション科

**医師数** : 377名

**指導医師数** : 196名（指導医講習会修了者）

**外来患者数** : 1,336名／日

**入院患者数** : 528名／日

**所在地** : 岐阜市柳戸1-1

**URL** : https://hosp.gifu-u.ac.jp/



## 病院の特徴

「優れた医学的知識や技術力に加え、共感力と思いやりを備え、専門家として継続的に学び、成長することを望む医師を育成する」の理念のもと、多彩な研修ニーズに対応できる、大学病院の特色を活かしたオーダーメイド研修が可能です。初期研修の期間中でも原則1ヶ月前までであれば診療科の変更が可能です、複数の関連施設での研修も組み込むことができます。

内科及び救急研修については原則1年目ですが最大2ヶ月、2年目において研修することが可能です（なお、救急については、2年目で研修する場合、協力型病院での救急外来研修（ER研修）に替えることもできます）。

詳細はプログラム冊子（ホームページで公開中）をご覧ください。

## 院長メッセージ



秋山治彦

岐阜大学医学部附属病院は、社会と医療のニーズに応え、患者さんのため全ての病気を安全に、そして安心して治療を受けていただける信頼される病院として発展してきました。

①岐阜県の特定機能病院として高度な医療を提供する病院

②地域医療機関との連携中核病院

③先進医療と臨床研究を推進し、新たな標準治療を創生する病院

④地域と国際的に活躍する医療人の育成を行う病院

⑤働き方改革のもと職員が働きやすい職場環境を整備している病院

を病院作りのランドデザインとして取り組んでいます。岐阜大学病院プログラムでは、研修医の皆さんの教育と育成に対して卒後教育から生涯教育というシームレスな研修体制を、多くの診療科の指導医により取り組んでいます。

基本的初期診療を多くの疾患で習熟するだけでなく、ロボット支援手術や最新の高難度治療を早くから経験できる多彩なプログラムを用意しています。各種ハンズオンセミナー開催、学会参加、海外研修、充実した専門医プログラムなど、一人ひとりの医師として将来のキャリアを見越した充実した多彩な研修を通して、研修医の皆さんの熱意に応えるよう責任を持って全力でサポートいたします。

## 指導医メッセージ

岐阜大学病院プログラムではあなた自身のニーズに適した初期研修が実現できます。「市中病院と大学病院のいいところ取りなんて本当にできるの?」「診療科の選択自由度が高いって本当?」そういった研修医の要望に応じて、市中病院1年、大学病院1年のたすき掛けコースや、協力病院以外にも保健所、健診センター、献血センターといった保険・医療行政機関も選択できる大学病院2年コースを用意しております。それ以外にも急性期、外科、周産期、地域医療に特化したコースもございます。9か月の選択自由期間は、自分の将来希望する診療科をがっつり回るもよし、周辺の診療科を回っておくもよし、ドクターヘリに乗るもよし！本当に自分の希望する大学内外の診療科・行政機関で研修可能です。

研修する医療機関、診療科の選択肢は圧倒的に多く、きめ細やかな指導を受けられるのは県内唯一ですので、ぜひ岐阜大学病院で研修しましょう。

## 研修医メッセージ

岐阜大学病院の研修は、本当にフレキシブルで予定を組みかえることも可能です。学生自体は全く考えていなかった公衆衛生分野に進むかも、と思ったときに保健所へ研修に出かけられたのも自由度の高さのおかげでした。

また自分の志望科にあまり関係がなさそうで興味がなかった診療科でも、詳しく丁寧に指導していただき、進路として迷うようになることもありました。

志望科が決まっていなければ非常に多くの診療科を回ることも可能ですし、志望科が決まっていればいち早く志望科でどっぷり研修することや周辺の診療科で研修することも可能です。

「自分の将来は自分で決める！」を体現できるのは岐阜大学病院プログラムでしょう。

## 研修スケジュール

大学病院は指導医が豊富であることが強みであり、このことは研修スケジュールにおいて柔軟な選択オプションを可能にしました。初期研修の進行中でも、コース内容を途中変更することが可能です。

岐阜大学病院プログラム	1年次	6ヶ月			3ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月
		内科選択			救急	小児科	産婦人科	精神科
	2年次	1ヶ月	2ヶ月	9ヶ月				
	地域医療	外科		自由科目				

コース1 : 2年一貫岐阜大学病院で原則研修する。
コース2 : 1年次を岐阜大学病院で研修し、2年次を協力型臨床研修病院で研修する。
コース3 : 1年次を協力型臨床研修病院で研修し、2年次を岐阜大学病院で研修する。
コース4 : 救急や外科に特化した急性期コースや外科医エキスパート養成コースを用意。※外科医エキスパート養成コースでは外科系診療科から研修を開始できる。
コース5 : 東濃・飛騨出身の地域枠学生に推奨するプログラムで、東濃・飛騨地域の研修病院と岐阜大学病院とのたすきかけ研修が可能。

岐阜大学病院周産期プログラム	1年次	6ヶ月			3ヶ月	3ヶ月			
		内科選択			救急	病院が定める必修科目または自由科目			
	2年次	1ヶ月	3ヶ月	8ヶ月					
	地域医療	周産期		小児科	産婦人科	精神科	病院が定める必修科目または自由科目		

岐阜大学病院地域医療重点プログラム	1年次	6ヶ月			3ヶ月	3ヶ月			
		内科選択			救急	病院が定める必修科目または自由科目			
	2年次	3ヶ月			9ヶ月	病院が定める必修科目または自由科目			
	地域医療			小児科	産婦人科	精神科			

全てのプログラムにおいて、分野により協力型病院、協力施設で研修を希望する場合は、岐阜大学病院における研修が1年以上確保できることを前提に可能。岐阜大学病院プログラムのコース1、コース4、周産期プログラムに限り、臨床研修2年目からの大学院進学を認める。
病院が定める必修科目：外科1（心臓血管外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科）から4週単位で1科目、外科2（外科1で選択した外科以外の、心臓血管外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科から4週単位で1科目、または、整形外科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、形成外科、皮膚科、泌尿器科から2週単位で2科目または4週単位で1科目）を必修とする。

## 研修協力病院・施設

<b>協力型研修病院</b> 厚生連久美愛厚生病院 朝日大学病院 慈恵中央病院 総合大雄会病院 岐阜県立多治見病院 公立陶生病院	岐阜県総合医療センター 中部国際医療センター 医療法人香徳会関中央病院 彦根市立病院 大雄会第一病院 総合病院中津川市市民病院 多治見市民病院	岐阜市市民病院 厚生連中濃厚生病院 高山赤十字病院 美濃市立美濃病院 東海中央病院 土岐市立総合病院 岩手県立磐井病院	社会医療法人蘇厚生会松波総合病院 医療法人社団志聖会犬山中央病院 国立病院機構長良医療センター 大垣市民病院 大垣徳洲会病院 厚生連東濃厚生病院	県立下呂温泉病院 羽島市民病院 郡上市市民病院 愛知県がんセンター中央病院 国立病院機構豊橋医療センター 一宮西病院	岐阜赤十字病院 厚生連岐阜北厚生病院 一宮市立市民病院 厚生連揖斐厚生病院 厚生連西美濃厚生病院 みどり病院
<b>協力施設</b> 岐阜県岐阜保健所 岐阜県西濃保健所 下呂市立金山病院 滝谷医院 清見診療所 シティータワー診療所	一般社団法人ぎふ総合健診センター 岐阜県関保健所 特定医療法人録三会太田病院 岩砂診療所、岩砂マタニティ てらしまクリニック 朝日診療所 沼口医院	岐阜県赤十字血液センター 岐阜県可茂保健所 東北西部地域医療センター国保和良診療所 国民健康保険飛騨市市民病院 下呂市立小坂診療所 医療法人和光会山田病院 あんどう内科クリニック	岐阜市保健所 岐阜県恵那保健所 市立恵那病院 総合在宅医療クリニック 東白川村国保診療所 岐阜ハートセンター 東北西部地域医療センター高鷲診療所	社団医療法人かねめ会山内ホスピタル 岐阜県東濃保健所 国民健康保険上矢作病院 岩手県立千厩病院 久々野診療所 東北西部地域医療センター国保白鳥病院 高根診療所	岐阜県飛騨保健所 社会医療法人白鳳会鷺見病院 中津川市国民健康保険坂下診療所 揖斐郡北西部地域医療センター 庄川診療所 谷汲中央診療所 白川病院

## 後期研修・専門研修（予定）

新・専門医制度に関しては、19の基本領域で基幹施設となります。新制度では専門医資格取得に必要な症例のうち、一定数を初期研修時に経験した症例を充てることができます。そのため、初期研修から専門医研修へのスムーズな移行は、専門医資格取得のためには重要です。

「早く・確実」に専門医、指導医、サブスペシャリティを取得したい場合、「シームレス」な大学病院の研修が有利です。

	岐阜大学病院専門研修プログラム																	(令和5年度参考)	
専門領域	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	形成外科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理	臨床検査	救急科	川ピリア・ショ	総合診療
定員	25	13	9	10	21	6	20	4	5	2	7	8	9	10	4	1	8	2	4

## 研修プログラムの目標

**岐阜大学病院プログラム**

必修科選択により先ずプライマリケアに関する研修の到達目標をクリアし、指導医評価を行う。次いで希望する診療科を自由選択して専門性の向上を図り、専門研修プログラムに前倒し的にリンクさせる。希望者を対象として初年度から専門医の取得を目指した平行型の研修をプロトコルに従い実践する。

**岐阜大学病院周産期プログラム**

周産期に特化しているが、プライマリケアに関する研修到達目標を先ずクリアすることを条件とする。次いで、地域医療も含ました幅広い周産期と新生児期ケアを中心とした研修を行い、関連病院への派遣研修も含んだNICU研修を実践する。

**岐阜大学病院地域医療重点プログラム**

必修科選択により先ずプライマリケアに関する研修の到達目標をクリアし、指導医評価を行う。次いで希望する診療科を自由選択して専門性の向上を図り、専門研修プログラムに前倒し的にリンクさせる。希望者を対象として初年度から専門医の取得を目指した平行型の研修をプロトコルに従い実践する。

### 募集要項

応募資格 : 令和7年3月に医師免許を取得する見込みである者  
医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者

募集人員 : 岐阜大学病院プログラム 27名  
岐阜大学地域医療重点プログラム 3名  
岐阜大学病院周産期プログラム 4名

※詳細は医師育成推進センターHPよりご確認ください。

身分 : 非常勤職員

給与 : 月額約30万円(時間外手当、夜間診療業務手当(15,000円/回)、通勤手当含む)、別途研修奨励手当(60,000円/月)  
※協力病院採用の期間は、協力病院の処遇による。

住居等 : 研修医宿舎 有

保険等 : 医師賠償責任保険 : 病院において加入、任意で個人加入  
文部科学省共済組合 : 厚生年金・雇用保険・労災保険

### 連絡先

岐阜大学医学部附属病院 医師育成推進センター

電話番号 : 059-230-6048

fax : 059-230-7172

E-mail : sotsugoj@t.gifu-u.ac.jp

ホームページ : https://hosp.gifu-u.ac.jp/cct/

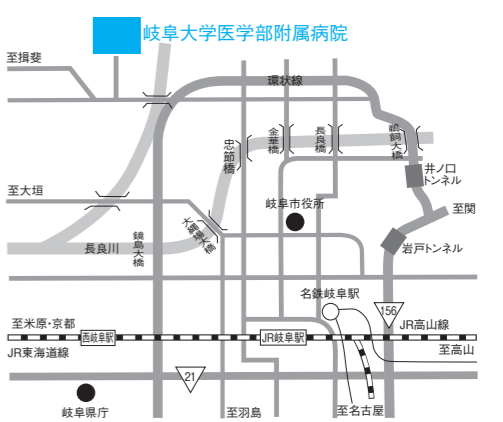


医師育成推進センター案内



専門研修プログラム案内

### 交通案内



JR 岐阜駅・名鉄岐阜駅から「岐阜大学病院（C70）もしくは（N45）」行バスで約40分（直行便 C72約30分）車で約20分



# 大垣市民病院

## 病院の概要

**開設時期**：昭和34年10月1日  
**開設者**：大垣市長 石田 仁  
**院長名**：豊田 秀徳  
**許可病床数**：817床  
**標榜科**：内科、神経内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、精神科、小児科、第2小児科（小児循環器、新生児科）、外科、消化器外科、小児外科、乳腺外科、脳神経外科、心臓血管外科（胸部外科）、呼吸器外科（胸部外科）、形成外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、頭頸部・耳鼻いんこう科、歯科口腔外科、放射線診療科、放射線治療科、リハビリテーション科、麻酔科、病理診断科  
**医師数**：197名  
**指導医師数**：63名  
**外来患者数**：1,882名／日  
**入院患者数**：581名／日  
**所在地**：大垣市南類町4-86  
**URL**：http://www.ogaki-mh.jp/



## 病院の特徴

大垣市民病院は岐阜県下最大の急性期病院で、大垣市を中心とした西濃医療圏約35万人の基幹病院として、日々発展し続けております。当院は医師臨床研修施設、地域がん診療連携拠点病院、小児科救急医療拠点病院、岐阜県地域周産期母子医療センター認定施設等に指定されております。

2012年度には、最先端機器を備えた救命救急センターが完成し、全ての救急患者を受け入れる体制を整えております。

## 院長メッセージ



豊田秀徳

岐阜県西濃地方の大垣市に位置する中核病院です。「大垣」という名は知らない人も多いかもしれませんが、医療関係者にとって「大垣市民病院」を知らない人がいたとしたらモグリです。大垣市民病院は岐阜県だけでなく、全国の医療関係者が知っている病院です。「Gifu prefecture」「Ogaki city」は知らなくても「Ogaki Municipal Hospital」を知っている海外の臨床家・研究者も少なくありません。それはさておき、研修医の先生への魅力をあげれば代表的な症例から稀な症例まで多岐にわたる症例を短期間で経験できること、しっかりした教育体制が整っていること、高度な医療を実践していること、給料がいいことなどでしょうか。「研修は大垣市民病院で行った」はひとつのステータスです。医師は最初の3年間の過ごし方がその後を決めると言われます。自分のキャリアを作るのに適した当院の初期研修への応募を期待しています。

## 指導医メッセージ

当院は全ての科において豊富な症例が経験できます。また経験できる疾患群は common disease から稀なものまで多岐にわたります。各科の持つ診療技術も高度であり、プライマリケアのみでなく、先進的な医療も経験できます。初期研修にとって特に重要な分野である救急においては、一次から三次までの救急医療を経験でき救急車搬送台数も有数であることから、高度かつ実際の研修が可能です。また、多い症例数が消化不良にならないように、研修医全体の教育単位を用意し、さらに各科でのカンファレンスも充実しています。頑張れば本物の実力がつく病院と自負しています。

## 研修医メッセージ

1年目：大垣市民病院で研修を始めてまだ1カ月ほどですが、非常に充実した研修生活をおくっています。実力不足を痛感することも多々ありますが、ともに働く同期研修医や上級医の先生方、コメディカルの方々に支えられて貴重な経験を積んでいます。症例の豊富さが注目される病院ではありますが、その多くの経験を診療に活かす医師やコメディカルスタッフ、そしてそうした経験を求めて集まるモチベーションの高い研修医がたくさんいます。ぜひ一度見学に来て一人一人の熱意を感じていただけたら幸いです。

2年目：当院での研修の魅力は、common disease から症例報告となるような興味深い疾患まで、幅広く、数多くの症例を経験できることにあるでしょう。救急外来では walk in の患者様も、救急搬送された患者様も研修医が first touch を行います。日々緊張感の中で仕事をするのはつらいこともありますが、当院での研修を終えれば、必ず一人前の医師に近づけると皆やる気を持って過ごしています。ぜひ一度見学に来て、当院の熱意を感じてください。

## 研修スケジュール

①必修科目はもれなく研修でき、全診療科研修を必修とするスーパーローテーション方式研修で、豊富な症例数と充実した指導体制の下で医師としての基礎力形成に適している。

②いわゆる「マイナー科」も充実している為、自分の興味に沿った選択科目を研修でき、専門科の決定や広汎な知識の獲得に有用である。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科系・外科系・小児科系・産婦人科・救急・麻酔科											
2年次	地域医療・産婦人科・精神科・救急・麻酔科・選択科目											

## 研修協力病院・施設

【精神科】大垣病院、西濃病院、養南病院  
【地域医療】関ヶ原診療所、揖斐郡北西部地域医療センター、飛騨市民病院、海津市医師会病院  
【保健・医療行政】西美濃さくら苑、くすのき苑

## 後期研修・専門研修（予定）

専門医取得について外科・内科・麻酔科は基幹病院指定を受け、その他の科も大学等の連携病院となっています。3年目以降も当院でシームレスな高度知識と技術の修得が可能です。

## 研修プログラムの目標

臨床研修の目的は、医師としての基本姿勢、倫理、使命感の養成及び、専門医に至る道のりとしてのプライマリケアを中心とした基礎知識と基礎技術の修得、さらに患者・家族から信頼される医師を目指すことにある。また、医師がより良い医療行為を行うために必要な協体制度がいかに構築されているかを知り、看護師、検査技師、薬剤師などと協調性をもって仕事ができるようになることも重要である。

## 研修プログラムの特徴

豊富な症例数と高度な医療技術が備わった病院で、common disease も稀な疾患も実体験でき、診断から治療の完結までをフォローすることができます。救急は一次から三次までをカバーし、救急車の搬送数も全国屈指であるばかりでなく、濃厚な教育で救急的な対処法を学ぶ機会があるため、救急対応能力が飛躍的に身につきます。また、各診療科の検討会、研究会や医学会にも参加するほか、臨床病理検討会（CPC）では症例の提示・発表を行います。1年次には、研修医基本講座として、各診療科の救急におけるプライマリ・ケアの実習および講義を行い、CT・US検査実習、シミュレーション研修などを行います。救急センターで経験した特徴的な症例を、毎月開催される救急症例検討会で発表し、知識・対応方法の共有化を図ります。実践力をつけるには最適な病院と思いますので、皆さんのご応募をお待ちしております。

## 募集要項

**応募資格**：令和7年3月に医師免許を取得する見込みである者  
**募集人員**：医科18人（予定）  
**身分**：分：任期付職員  
**給与**：与：1年目：約8,514,000円  
2年目：約10,630,000円  
→令和4年度実績であり、変動する場合があります  
**住居**：等：医師住宅有り、賃貸住宅居住者には家賃補助あり  
**保険**：等：岐阜県市町村職員共済組合健康保険、共済年金保険  
**その他**：他：学会等における発表者の参加費・旅費病院負担

## 連絡先

**電話番号**：0584-81-3341  
**fax**：0584-75-5715  
**E-mail**：rinken@omh.ogaki.gifu.jp

## 交通案内



大垣駅よりバスで約10分



# 岐阜県立多治見病院

## 病院の概要

開設時期：昭和14年9月8日  
開設者：地方独立行政法人岐阜県立多治見病院  
院長名：近藤 泰三  
病床数：553床  
標榜科：内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、リウマチ科、精神科、神経内科、呼吸器内科、小児科、新生児内科、緩和ケア内科、外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓外科、血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線治療科、放射線診断科、歯科口腔外科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科、救急科  
医師数：172名（医科165名、歯科7名）  
指導医師数：50名（臨床研修指導医講習会修了者）  
外来患者数：1,086名／日  
入院患者数：396.9名／日  
所在地：多治見市前畑町5-161  
URL：https://www.tajimi-hospital.jp/



## 病院の特徴

岐阜県立多治見病院は岐阜県東濃地域唯一の三次救急病院であり、内科・外科・マイナー科以外にも、精神科・緩和ケア内科・心臓血管外科など全科の揃った570床の総合病院です。2024年には新棟が開設予定で、東濃・可児地域における基幹病院として、高度急性期・急性期の医療機能を拡充します。

## 院長メッセージ



近藤泰三  
(循環器内科)

当院の特長は、岐阜県東濃可児地域の扇の要に位置し、地域の中での基幹病院であることはもちろんですが、中津川市民病院を初め、各中核病院と真の病病連携、また、かかりつけ医院との病診連携が緊密におこなわれている病院ということ。つまり、住民の皆さんの「最後の砦」として、二次三次救急を初めとする様々な役割を担っています。その為に地域がん診療拠点病院、地域周産期母子医療センター、災害拠点病院であり、結核病棟、感染症棟、緩和病棟、精神科病棟も備え、幅広い診療を行っています。愛知県の病院、岐阜市内の病院とは一味違う持ち味を持っていると思います。医師及びメディカルスタッフは、東濃可児地域という広い地域の住民の期待に応えるように活躍しています。  
研修医の先生は、多くの患者さんが集まる当院で症例を経験でき、また、上級医師の指導により、様々な手技を学ぶことができます。名古屋大学、名古屋市立大学との連携により、多くの医師が医局、様々な中核病院と活発な交流をしており、優秀な先輩が当院へ赴任され、また巣立っています。是非当院で研修をスタートしてみませんか。

## 指導医メッセージ

当院では指導医・上級医のみならずコメディカルも含めた病院全体で臨床研修をサポートしています。同時に、指導医と研修医の風通しを良くして、いろいろな意見を聞きつつ研修環境や制度を「カイゼン」しています。研修環境だけでなく、臨床教育プログラムも充実しており、研修早期にAHAのBLS、ACLS、JPTECを受講していただきます。また、グループワーク型の総合診療講座や、各科の部長講義などのバラエティーに富む教育プログラムも毎月1回程度開催しています。  
医療現場においても多様性や個性が見直されている時代ですが、いろいろな出身大学の仲間（研修医）がいることも当院の特徴の一つです。仲間と一緒に、将来のキャリアにむけて岐阜県立多治見病院で医師としてのスタートを切ってみませんか？

## 研修医メッセージ

県立多治見病院での研修について、研修医からの視点でメッセージを一言でまとめると、「やる気に応じてくれる病院」となるでしょうか。救急では1次から3次まで本当に様々な疾患を経験できます。完全電子カルテ化されているので、救急外来を受診した患者さんの経過がわかるのもbrush upにつながっています。また充実したローテートで、基本的な手技は確実に身につきます。各科の壁が低いので、指導医に申し出て循環器科研修中に胃カメラをしたり、内分泌科研修中に腹部エコーをしたりと、自分の担当患者さんを総合的に診られたことも、この病院を選んでよかったと実感したことの一つです。まずは実際に病院に見学に来て、雰囲気に触れてください！研修医からもっと詳しい話が聞けますし、研修を修了した憧れの先輩方もたくさんいるので、自分の数年後の姿が見えてくるはずです。「やる気」をもった後輩がたくさんできるとうれしく思います。

## 研修スケジュール

- 【1年次】・内科系20週以上、救急部門12週以上、外科系12週以上、小児科4週以上 ※産婦人科は希望により1年目に選択することも可能。その場合は内科系を1年目16週以上、2年目8週以上選択する。
- 【2年次】・内科系・産婦人科・精神科・地域医療を最低4週  
・内科系は、消化器・循環器・呼吸器・腎臓・血液・糖尿病・内分泌・神経内科から選択できる。緩和ケア内科は、2年次の選択とする。  
・外科系は、一般外科及び整形外科を最低4週選択し、他は形成外科・心臓外科・血管外科・脳神経外科・消化器外科・呼吸器外科・乳腺内分泌外科・泌尿器科・眼科・耳鼻いんこう科・皮膚科・放射線診断科から選択できる。  
・1年次に、整形外科を必ず選択する。また、脳神経外科・神経内科の内いずれかを必ず選択する。  
・当直研修は、救命救急センターにて月平均6回  
・一般外来研修は小児科・地域医療にて研修を行う。  
・地域医療は、国保上矢作病院（4週）または与論徳洲会病院（8週）を2年次に選択する。  
・岐阜県赤十字センターが実施する献血に同行し、献血を経験する。

パターン①		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次		内科系					小児	外科系			救急		
2年次		内科系	産婦	精神	地域	病理	選択科目						

パターン②		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次		救急			内科系			外科系			小児	内科系	
2年次		内科系	救急		産婦	地域（与論）	精神	選択科目+病理（1週間）					

## 研修協力病院・施設

名古屋大学医学部附属病院  
岐阜県赤十字血液センター  
与論徳洲会病院  
国民健康保険上矢作病院

## 後期研修・専門研修

当院では内科領域・外科領域及び精神科において、当院を基幹病院とする専門研修プログラムがあり、正規勤医の待遇で採用します。その他の診療科についても、名古屋大学医学部附属病院、岐阜大学医学部附属病院等の連携施設ですので、初期研修終了後に、そのまま当院で専門研修に移行することができます。  
また、学会・論文発表などを含め、各科専門医取得に向けての準備は当該科部長が責任を持って指導します。

## 研修プログラムの目標

岐阜県立多治見病院研修理念に則り、患者の気持ちを常に思いやる習慣を身につけるとともに、医師として必要なプライマリケアの基本的な診療能力や救急医療や外科系・内科系に渡る幅広い知識や技能を習得します。

## 研修プログラムの特徴

研修プログラムは自由度が高く、都度変更が可能です。研修医のための研修会・勉強会も豊富に開催しており、指導医・上級医によるしっかりした指導体制が整っています。AHAのBLS・ACLS、JPTECの講習は、受講料を病院が全額負担して受講することができます。地域医療では鹿児島県与論島の離島研修、または岐阜県恵那市の山間部の病院研修を選択できます。

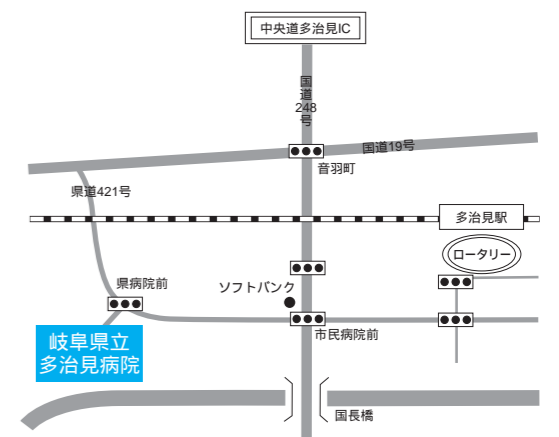
## 募集要項

応募資格：令和7年3月に医師免許を取得する見込みである者  
募集人員：12名（予定）  
身分：常勤臨床研修医師  
給与：月額588,000円、賞与2回  
1年次年収：約790万円、2年次年収：約890万円  
住居：等：研修医宿舎、職員食堂  
保険：等：健康保険、厚生年金、雇用保険、国家・地方公務員災害補償  
当院加入の医師賠償責任保険の適用あり  
休暇：等：年次休暇（27日（ワークライフバランス休暇（7日）含）、特別休暇等

## 連絡先

電話番号：0572-22-5311 内線（2210）  
fax：0572-25-1246  
E-mail：info@tajimi-hospital.jp

## 交通案内



JR中央線多治見駅からバスで約10分



# 岐阜県厚生農業協同組合連合会 東濃中部医療センター-土岐市立総合病院

## 病院の概要

開設時期：昭和63年5月1日  
 開設者：土岐市長  
 院長名：塚本 英人  
 病床数：350床  
 標榜科：内科、神経内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、血液内科、呼吸器内科、リウマチ・アレルギー科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、麻酔科、精神科

医師数：21名  
 指導医師数：14名  
 外来患者数：260.1名/日  
 入院患者数：99.1名/日  
 所在地：土岐市土岐津町土岐口703-24  
 URL：http://www.tokisou.gfkosei.or.jp/



## 病院の特徴

当院は昭和63年5月、旧市民病院と旧中央病院を集約し、岐阜県東濃地域の中核病院を目指して発足し、令和2年4月より、JA 岐阜厚生連の指定管理となりました。救急医療・予防医療・在宅医療と多段階の医療サービスを提供しながら、総合的医療機関として機能しています。二次医療圏は土岐市（約6万人）と瑞浪市（約4万人）で構成され、瑞浪市にある東濃厚生病院と輪番制で二次救急を行っています。夜間、休日の救急体制は、二次救急当番日では医師3、4人体制を取っており、多種多様な救急疾患に対する確かな対応ができるシステムを確立しています。令和8年2月に、同じ「東濃中部医療センター」である東濃厚生病院と統合し、約400床規模の新病院建築を進めております。

## 病院長メッセージ



塚本英人

当院は、土岐市の緑豊かな丘陵地に建つ350床の地域中核病院です。令和2年4月1日より、JA 岐阜厚生連の指定管理により、「東濃中部医療センター土岐市立総合病院」となりました。急性期から在宅まで、プライマリ・ケアから専門治療、高度医療まで幅広い診療を行っています。救急時間帯でも昼間と同様にコメディカルスタッフが常駐し、高度医療機器を駆使し、的確な診断・治療を行っています。職員同士の垣根は低く、どんなことでも相談し合うことができます。高齢化社会を迎え、患者様の病態も複雑化し、治療も複数の診療科にまたがるが増えてきました。情報の共有化と経験豊かなスタッフが協力して、質の高いチーム医療の実践に努めています。

## 指導医メッセージ

当院は、土岐・瑞浪地域10万人規模の二次医療圏を担う中核病院です。研修プログラムにおいては、定員が毎年5人程度であるため、研修医のローテーションが重複しないよう調整することで、さまざまな症例・手技に接する機会が等しくあります。1年目は必修科目と救急疾患の診療の習熟に努め、2年目は将来の進路を見据えて、選択科目の中から各自が診療科を選択します。救急外来では、地域に密着した病院として common disease から rare な疾患まで多岐にわたる症例を経験することができます。指導医、コメディカルとの垣根も低く、相談したり話し合ったりする環境があります。当院は、一人ひとりに目の行き届く研修を目指しています。

## 研修医メッセージ

当院を研修先に選んだ理由は、中規模病院であり地域に根付いていることから患者さんとの距離が近く、また各科の垣根も低いと相談しやすい等の点から当院を選びました。特に救急外来においては、大規模病院や大学病院では重症例ばかりの所もあるようですが、当院には風邪、打撲から心筋梗塞・脳出血等多種にわたる疾患の方が来られます。私は、研修医のうちに風邪などの common disease に対処できることも重要と考えたので、この病院を選びました。当院で経験できない症例を同じ「東濃中部医療センター」である東濃厚生病院で経験することもできます。

## 研修再開を希望される皆さんへ

当院では、途中再開者の皆さんに広く門戸を開いており、研修再開を希望される方は、当院へお問合せください。

## 研修スケジュール

それぞれの希望に合ったローテーションが組めます。各科1人のローテを基本とし、症例や手技を思う存分に学べます。

	1~4週	5~8週	9~12週	11~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1年次	内科						救急			外科	小児科	選択科	
2年次	選択科		地域医療	選択科	産婦人科	選択科	精神科	選択科					

## 研修協力病院・施設

岐阜県立多治見病院（産婦人科）	東濃厚生病院	春日井市民病院（産婦人科）
土岐市老人保健施設やすらぎ	市立恵那病院（地域医療）	名古屋大学医学部附属病院（産婦人科）
岐阜県赤十字血液センター	国民健康保険上矢作病院（地域医療）	医療法人社団聖泉会聖十字病院（精神科）
医療法人仁誠会大湫病院（精神科）	医療法人徳洲会名古屋徳洲会総合病院	国民健康保険坂下診療所（地域医療）

## 研修プログラムの目標

初期臨床研修を将来医療を担うものにとって最も重要な時期の一つとして位置付けております。プライマリ・ケアを含めた医療に関する考え方、基本的知識及び技術を臨床の場において広く修得するのみではなく、医師としてふさわしい人格、責任及び協調性、更に高い倫理観を身につけると共に患者様の立場に立った全人的医療を行なうことができる事を目的としています。

## 研修プログラムの特徴

初年度は内科系24週以上、救急を12週以上、外科・小児科については4週以上、2年次は地域医療、精神科、産婦人科を4週以上行います。残りの期間はそれぞれ希望により選択します。各科の横の繋がりの連携も良く、横断的・多角的な研修が可能です。救急外来、当直は2年間を通じて研修し、担当した症例はローテーションに拘わらず主治医と共に受け持ちます。当直は月4～5回程度です。

## 募集要項

応募資格：令和7年3月に医師免許を取得する見込みである者  
 医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者

募集人員：5名（予定）

身分：常勤嘱託職員

給与：与：年収680～750万円程度（基本給・賞与・諸手当を含む）

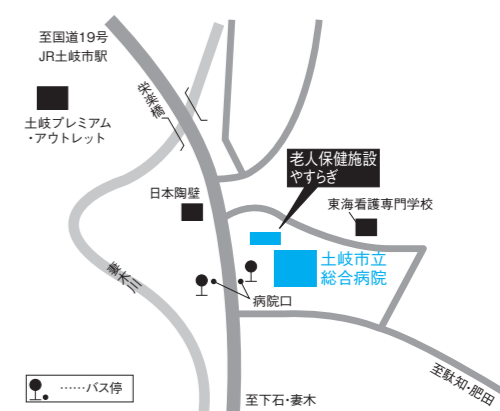
住居：等：有（世帯用・単身用共）

保険：等：有（健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険・医師賠償責任保険）

## 連絡先

電話番号：0572-55-2111  
 fax：0572-54-8488  
 E-mail：toki.kensyu@gfkosei.or.jp

## 交通案内



JR中央本線「名古屋」駅から普通で約50分、快速で約40分  
 JR中央本線「土岐市」駅から路線バスで約20分  
 「病院前」又は「病院口」で下車



# 岐阜県立下呂温泉病院

## 病院の概要

開設時期：昭和28年7月1日  
開設者：地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院  
院長名：大平 敏樹  
病床数：206床  
標榜科：内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、内分泌内科、腎臓内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、胸部外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、病理診断科、臨床検査科、救急科

医師数：31名  
指導医師数：15名  
外来患者数：257名／日  
入院患者数：114名／日  
所在地：下呂市森2211  
URL：https://www.gero-hp.jp/



## 病院の特徴

下呂温泉病院は、飛騨南部を中心とした広大な診療圏において、地域密着型の医療を提供する、一般病床206床（うち地域包括ケア病床104床）の地域中核病院、へき地支援病院です。診療圏内唯一の二次救急医療機関でもあり、救急・急性期医療からリハビリテーション・予防医学・在宅療養支援までの一貫した診療を行っています。

平成26年に現在の地に新築移転し、屋上ヘリポートの設置により重症患者の搬送入を直接病院で行えるようになり、よりスピーディな救急対応が可能となりました。病室を「全室個室化」することでプライバシーの向上が図られ、また、基礎免震構造を備え大規模災害時にも機能できるように、患者さんがより安全に、安心して利用できる医療の場を提供しています。

## 院長メッセージ



大平敏樹

下呂温泉病院はその名のおり天下の三名泉である下呂温泉の地において、“生活の場における医療”（住民が必要とする医療をその地域内で行う医療）の提供を基本理念として、地域の皆さん、県民の皆さんから信頼され、必要とされる病院を目指しています。

当院は下呂市の他、中津川市北部、加茂郡の一部、郡上市の一部を含めた総面積1,500km<sup>2</sup>の広大な地域をカバーしているほか、観光で訪れた方々の救急需要が高いという特徴があります。

岐阜大学医学部大学院の地域医療医学センター、岐阜県総合医療センターと協働し、研修医の方々を相互派遣することで、当院では経験できない診療科や都市部の医療を学べるほか、都市部の研修医の方についても当院における地域医療を学んでいただく体制も整備しております。

地域に根ざした病院環境の中で2年間の研修を体験し、地域医療を担う即戦力の医師を目指してみませんか。

## 指導医メッセージ

当院は中規模な総合病院であり、症例数も初期研修には適しており、個々の症例にじっくりと取り組み、指導医の濃厚な指導を受けることができます。都市部でしばしば見られるような、忙しすぎて收拾がつかなくなるといったこともまず起こりません。

診療科間の垣根がなく、他科との連携も取りやすいため、受け持ち患者が少なくても複数科の診療に同時に携わることができます。救急医療においては、診療圏内の救急患者のほぼ全てを受け入れ、幅広い救急対応技術を修得することができます。

診療所や訪問看護ステーション等の院外医療スタッフとの交流も盛んで、地域医療や総合医を志している方には最適の環境です。

是非、私たちと一緒に、地域にとけ込んだ真の総合医療を研修してみませんか。

## 研修医メッセージ

下呂温泉病院は自然豊かな地域に立地しており、地方の病院であるためか、病院内においても医療スタッフの方々と患者さんが温かく接していただけます。

当院の研修内容は自由度が非常に高く、また、研修医の定員が1年次2名と少数のため、きめの細かい丁寧な指導を受けることができます。例えば内科研修においては、エコーを思う存分使わせてもらえました。随時開催されている院内勉強会・研修会も大変勉強になります。

平成26年5月に新病院へ移転したため、新しく綺麗な環境で研修することができます。興味のある方は是非見学にいらしてください。

## 研修再開を希望される皆さんへ

当病院では、中途再開者の皆さんに広く門戸を開いています。研修再開を希望される方は、当病院へお問い合わせください。

## 研修スケジュール

1年次	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
	内科 (24)				救急 (12)				外科 (4)		小児科 (4)	産婦人科 (4)	精神科 (4)
2年次	53～56週	57～60週	61～64週	65～68週	69～72週	73～76週	77～80週	81～84週	85～88週	89～92週	93～96週	97～100週	101～104週
地域医療 (4)	選択研修 (48)												

※順不同

- 内科と救急部門は1年次に研修する
- 外科は当院、精神科、小児科、麻酔科は協力病院にて各4週間研修
- 地域医療は2年次に東白川村国保診療所及び下呂市立小坂診療所にて4週間研修（一般外来と在宅医療の研修を含めるものとする）
- 選択研修は希望する診療科を選択する（履修済みの診療科の再選択も可能）
- 保健・医療行政を選択した場合は、岐阜県飛騨保健所にて研修（1週間）
- 全期間を通じ、救急当直研修（月4回以上）、一般外来研修（4週間）を必須とする
- その他、全期間を通じ、感染対策、医療安全対策、予防医療、虐待対応、社会復帰支援、緩和ケア、ACP、CPC等、基本的な診療において必要な分野・領域に関する研修を必須とする

## 研修協力病院・施設

### 【研修協力病院】

岐阜大学医学部附属病院【小児科、麻酔科】

岐阜県総合医療センター【小児科】

特定医療法人隆済会南ひだせせらぎ病院【精神科】

### 【研修協力施設】

下呂市立小坂診療所【地域医療】

東白川村国保診療所【地域医療】

飛騨保健所【保健・医療行政】

## 研修プログラムの目標

当院は次の3点を履修目標とし、地域の人の心が分かり、そして高い医療レベルを修得し、地域をリードする医師の育成を目指した研修を行います。

- ①プライマリー・ケアを担える総合的な診療能力を身につける
- ②救急医療において適切な初期対応をできるようにする
- ③チーム医療を理解・尊重し、様々な職種と協調した医療を実践する

## 募集要項

応募資格：令和7年3月に医師免許を取得する見込みである者  
医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者

募集人員：2名（予定）

身分：常勤職員として採用

給与：月額約700,000円 賞与：年2回

住居等：単身用3戸・世帯用3戸

保険等：包括医師賠償責任保険に病院で加入

## 連絡先

電話番号：0576-23-2222

fax：0576-23-2223

E-mail：info@gero-hp.jp

## 交通案内



JR 下呂駅からバスまたは自家用車 8分



# 高山赤十字病院

## 病院の概要

開設時期：大正11年11月1日  
開設者：日本赤十字社社長 清家 篤  
院長名：竹中 勝信  
病床数：394床  
標榜科：内科、呼吸器科、消化器科、血液内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、泌尿器科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、精神科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、病理診断科  
医師数：82名  
指導医師数：32名  
外来患者数：791名/日  
入院患者数：278名/日  
所在地：高山市天満町3-11  
URL：http://www.takayama.jrc.or.jp/

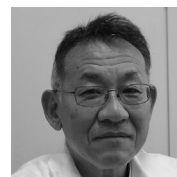


## 病院の特徴

【高山赤十字病院】は令和4年（2022年）に創立100周年を迎えた、岐阜県北部の歴史ある総合病院です。昭和56年（1991年）に臨床研修病院に指定されて以来、多くの医師を育ててきました。

東京都の2倍という広大な医療圏を守る中核病院としての当院のミッションは、高度な急性期医療を行うことです。飛騨地域では唯一の救命救急センターを整備。また回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟、介護老人保健施設を併設。地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院ほか多くの指定を受けています。多様な機能を生かして地域の超急性期から慢性期医療、終末期医療と、地域完結型を基本とした医療を提供しています。

## 院長メッセージ



竹中勝信  
(脳神経外科)

当院は今年創立101年を迎えた歴史ある病院です。飛騨地域の中核病院として急性期医療を担い、地域住民から大きな信頼と期待を寄せられてきました。救命救急センターのほか、回復期リハビリ病棟、地域包括ケア病棟、介護老人保健施設も併設し、超急性期から慢性疾患に至るまで、発症時からの一貫したプライマリケアを体験できます。

研修医は指導医のもと年間3000件超の救急搬送に副当直として対応し、多くの救急疾患を学ぶことができます。一方、病棟においては経験豊富な熱意ある指導医によるきめ細かい指導を受けられます。また、研修医による自主勉強会では、通常遭遇する病態・疾患についてプレゼンテーションを行い、他の研修医、指導医と活発な議論を行うほか、各部署の勉強会にも気軽に参加することができます。

このように年間を通じて学習機会が多く、充実した臨床研修を受けられるように積極的な支援を行っています。

飛騨高山には、美味しい郷土料理や温泉もあります。地域の魅力に触れながら医師としての第一歩を踏み出してみませんか。大いに歓迎致します。

## 指導医メッセージ

高山は、世界中から多くの観光客が訪れる国際都市で救急外来にも外国人が多く受診します。また、研修2年目には、姉妹都市であるアメリカコロラド州デンバーの病院研修を選択でき、必然的に国際感覚が身につけられます。研修の最大の特徴は、症例ごとに研修医自ら考え医療行為を行う「ひとりの責任ある医師」として、患者さんからもスタッフからも扱われるところにあります。また、飛騨地域唯一の救命救急センターで広大な二次医療圏内の数多くの急性期、慢性期疾患を当院で経験することができます。

2004年からの新臨床研修医制度では約90名の研修医が有意義な研修を積んで岐阜県内、全国に巣立ち活躍しています。さらに岐阜大学との専攻医プログラムと連携を取り、若い時期に多くの貴重な症例を経験することができます。飛騨地域の救急医療や新規感染症、災害に対応できる新病院を建設する計画を進めています。一度見学してみませんか？

## 研修医メッセージ

スーパーローテーションでプライマリ・ケアを身に付けるには、この病院がお勧めです。各科の壁が非常に低く風通しが良いので、コンサルトしやすい環境が整っています。上級医の先生も教育に熱心な先生が多く、お忙しい中快く何でも教えてくださいますので安心して研修できます。

救急の副直業務では、1次から3次救急まで幅広い疾患を見ることができ、当直の内科系と外科系医師に困ったらすぐ相談をして、責任ある指導が得られます。コメディカルと医師の仲がよいのも特徴で、ベテランの看護師、薬剤師・技師さんに何度もピンチを救ってもらっています。

高山は人情豊かな地で、患者さんにも助けられて充実した研修を進めることができます。研修医が都会の病院に集中する傾向がありますが、自分が医療スタッフの1人として責任を持って診療できるのは、当院ならではの醍醐味です。

## 研修スケジュール

一般プログラム	1年次	25週 内科				8週 外科	4週 小児	12週 救急科
	2年次	4週 外科	4週 産婦人科	4週 精神科	4週 地域医療	35週 選択科		

地域医療重点プログラム	1年次	25週 内科				8週 外科	4週 小児	12週 救急科
	2年次	4週 外科	4週 産婦人科	4週 精神科	12週 地域医療	29週 選択科		

○救急科：脳神経外科、整形外科、麻酔科に所属し救急対応を研修します。

○選択科：当院の全診療科、協力病院・施設にて、各自の進路、希望に合わせて研修を行います。

## 研修協力病院・施設

特定医療法人生仁会須田病院	飛騨市民病院	朝日診療所	高桑内科クリニック
日赤愛知医療センター名古屋第一病院	清見診療所	高根診療所	河野ファミリークリニック
日赤愛知医療センター名古屋第二病院	荘川診療所	久々野診療所	飛騨保健所
鳥取赤十字病院	白川診療所	岐阜ハートセンター	岐阜県赤十字血液センター
JA岐阜厚生連飛騨医療センター久美厚生病院	高山赤十字病院老人保健施設はなさと	岐阜大学医学部付属病院	富山大学附属病院
郡上市民病院	Mこころクリニック	ひだ在宅クリニック	

## 後期研修・専門研修

○幹幹プログラム：内科（定員5名）…岐阜大学医学部附属病院、岐阜県総合医療センター、岐阜市民病院、松波総合病院、岐阜ハートセンター、久美愛厚生病院、飛騨市民病院、日赤愛知医療センター名古屋第一病院、日赤愛知医療センター名古屋第二病院、東京都立多摩総合医療センターと連携して専門研修を行っています。

○連携プログラム：16領域は、岐阜大学医学部附属病院と連携して当地域での特徴的な疾患などを経験できます。一部の領域では、岐阜県総合医療センター、岐阜市民病院、松波総合病院、日赤愛知医療センター名古屋第一病院、日赤愛知医療センター名古屋第二病院、東京都立多摩総合医療センターの連携施設にもなっています。

## 研修プログラムの目標

幅広い臨床能力を修得し、日常よく遭遇する疾患に対するプライマリケアの修得と、将来、地域医療に貢献することを重視する医師が、地域医療において必要な診断、治療上の基礎的知識、技能を得るとともに、研修医時代に医師としての基本が形成されることから、臨床能力のみならず人格の涵養も大切で、人間味ある臨床医を目標とする。

## 研修プログラムの特徴

医師少数区域の飛騨地域にあり、中核病院としての役割を期待されています。このため救命救急センターを併設し1次から3次までの救急を担当しています。さらに一般病棟のみならず、回復期病棟、老人保健施設を有し、超急性期から急性期、慢性期、回復期、高齢者医療まで幅広いプライマリケアの修得が可能です。一貫した研修体制の下で垣根のない指導が受けられ、35週（地域医療重点プログラムは29週）は研修医の希望により診療科を選択し、幅広く研修を行います。

## 募集要項

応募資格：令和7年3月に医師免許を取得する見込みである者  
募集人員：8名  
身分：研修医（常勤嘱託）  
基本給：1年次年収 約750万円  
2年次年収 約900万円  
（基本給・賞与・諸手当を含む）  
住居等：宿舍あり 医師住宅家賃補助あり  
保険等：健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険

## 連絡先

電話番号：0577-32-1111 教育研修課  
fax：0577-32-6802  
E-mail：dr\_kenshu@takayama.jrc.or.jp

## 交通案内



JR高山駅から徒歩8分



# 総合病院中津川市民病院

## 病院の概要

**開設時期**：昭和31年11月  
**開設者**：中津川市長 青山 節児  
**院長名**：安藤 秀男  
**病床数**：360床  
**標榜科**：内科（総合）、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、形成外科、精神科、腎臓内科、血液内科、老年内科、内分泌・代謝内科、病理診断科、救急科、内視鏡外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、肛門外科、歯科口腔外科

**医師数**：45名  
**指導医師数**：19名  
**外来患者数**：723名／日  
**入院患者数**：203.2名／日  
**所在地**：中津川市駒場1522-1  
**URL**：https://nakatsugawa-hp.jp/



## 病院の特徴

地域の中核病院である当院では、様々な症状をもった数多くの患者さんが受診されるので、プライマリ・ケアに必要な基本的な診療技術を取得することが可能です。

## 院長メッセージ



安藤秀男

地域の人たちには無くてはならない病院として、またいざという時には頼りになる病院として、地域住民の人たちに安心、安全、信頼される医療をいつでも提供できるよう体制を絶えず整えています。進歩する医療に対して後れをとらないように、専門医資格や認定等の習得やその維持に積極的な支援を行っています。日本で初めての「病院前救急診療科」としてドクターカーを運用しており、当地方の災害拠点病院としての機能や、近隣の被災地域への支援のための災害医療派遣チーム（DMAT）を持つ病院でもあります。臨床研修指定病院として、医師の研修を始め、各地の医療技術者養成期間の実習生の教育などに関しても安定した実績を持っています。

## 指導医メッセージ

当院での研修方針は一言でいうと「よってたかって育てます」になります。中規模病院（360床）のメリットを最大限に活かし、研修医の先生の希望に沿うようにプログラムを組み、実現させていきます。従来から研修医人数は多くなく、指導医同士の意思疎通も比較的良いため各診療科の垣根も低く、指導医や上級医と一緒に研修を進めることができます。当院では毎月委員会事務局と研修医との懇話会を開催して、研修医の先生の意見をできるだけ反映するような体制をとっております。国の定める方針には従いますが、当直する日や研修順などできるだけ自分で決めることができる余地は残るシステムにしています。このように自分の意見も無理せずと言える、研修もしっかりでき、手技も身につけることができると思います。

地理的には当院は特急の止まる中津川駅からそれほど遠くなく、近くにリニア中央新幹線駅はでき、高速道路のインターチェンジはあるため、交通の便は悪くありません。しかし、中津川市は都会ではなく、医療圏10万人程度の地方都市ではあります。いわゆる地方の研修病院ではありますが、近隣に総合病院が少ないため、症例も比較的多いと思われる。

## 研修医メッセージ

当院は東濃医療圏の最東部に位置している病院です。東濃地域だけでなく、長野県に隣接していることから一部、長野県南部からも患者を受け入れる広大な医療圏を有しており、都市圏とは違う研修を体験していただけたらと思います。2次救急の病院ではありますが、病院前救急（ドクターカー）の研修では、3次救急の現場で『本当の初期』の初期治療を経験することができます。

各科ローテーションでは基本的に研修医は1人になるように配置されています。そのため、指導医の先生方からの指導も独り占めをすることができ、望むならば手技も豊富に経験できると思います。

また、当直業務は月4回が基本となっており、通常の研修に支障が出ないようになっています。1年目は必ず上級医が併診することになっており、2年目になっても必ず上級医がいますので、困ったときにはいつでも相談できる環境が整っています。高齢化の進んだ地域であることから、整形疾患・心疾患・呼吸器疾患が多いことが特徴となっています。

地域の病院であるため、都市部の病院のように何でもそろっているわけではありません。手持ちの道具が少ない中での戦い方を身に着けてみるのはいかがでしょうか。少しでも興味がありましたら一度病院見学にお越しください。

## 研修再開を希望される皆さんへ

研修再開を希望される方は、お問い合わせください。

## 研修スケジュール

### ■臨床研修プログラム

(週)	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
1年次	呼吸器内科	腎臓内科	脳神経内科	消化器内科	循環器内科	脳神経外科	小児科	救急	外科	産婦人科	整形外科	眼科	循環器内科
2年次	皮膚科	精神科	脳神経外科	泌尿器科	眼科	整形外科	地域医療	腎臓内科	耳鼻咽喉科	循環器内科	循環器内科	循環器内科	循環器内科

※必修科目：内科24週、外科4週、救急部門12週（4回／月×12月を行うことで4週分に充当可）、地域医療4週（2年次）、小児科4週、産婦人科4週、精神科4週（聖十字病院・岐阜大学医学部附属病院）

※ローテーションは、研修医と相談して決めています。

## 研修協力病院・施設

愛知医科大学附属病院	医療法人社団聖泉会 聖十字病院	中津川市国民健康保険 坂下診療所
岐阜大学医学部附属病院	恵那市国民健康保険 上矢作病院	中津川市国民健康保険蛭川診療所
名古屋大学医学部附属病院	中津川市国民健康保険川上診療所	

## 後期研修・専門研修（予定）

内科・外科・小児科・脳神経外科・整形外科・泌尿器科・救急科・病理診断科の診療科で基幹病院または大学病院と連携しており研修可能です。

## 研修プログラムの目標

将来の専攻希望科の如何にかかわらず、プライマリ・ケアを中心として、すべての臨床医に求められる基礎的能力を身に付けることを目的とした2年間の研修プログラムとなっています。

## 研修プログラムの特徴

地域の中核病院である当院には、さまざまな症状を持った数多くの患者が受診するので、研修医はプライマリ・ケアに必要な基本的な診療技術を修得することが可能です。

2年次の選択科目を多くしており、自由度の高いプログラムになっています。

全科の垣根が低く、症例などで困ったときに各科の医師に相談しやすい環境が整っています。

## 募集要項

**応募資格**：令和7年3月に医師免許を取得する見込みである者  
医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者  
**募集人員**：8名（予定）  
**身分**：常勤医師（フルタイム会計年度任用職員・社会保険加入）  
**給与**：1年次 月収約560,000円／年収約7,300,000円（時間外手当、賞与、日当直月4回含む）  
2年次 月収約620,000円／年収約8,300,000円（時間外手当、賞与、日当直月4回含む）（市の規定に沿って支給の為、変動あり。）  
**住居**：等：規定に沿って補助あり。  
**保険**：等：共済組合（保険・年金）・公務災害加入・医師賠償責任保険加入 ※（令和5年4月時点）

## 連絡先

総務人事課 人事係  
電話番号：0573-66-1251（代）  
fax：0573-65-6445  
E-mail：nmgh@hosp.city.nakatsugawa.gifu.jp

## 交通案内





# 公立学校共済組合東海中央病院

## 病院の概要

開設時期：昭和30年4月16日  
開設者：公立学校共済組合 理事長 丸山 洋司  
院長名：松井 春雄  
病床数：332床  
標榜科：内科、神経内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科、心療内科、緩和ケア内科、内分泌・糖尿病内科、血液内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、形成外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、病理診断科

医師数：70名  
指導医師数：28名  
外来患者数：633.6名/日  
入院患者数：252.3名/日  
所在地：各務原市蘇原東島町4-6-2  
URL：https://www.tokaihp.jp/



## 病院の特徴

全国にある公立学校共済組合8病院のひとつとして、また、岐阜市の東に隣接する人口約15万人の各務原市の唯一の総合病院として、開設60余年の歴史を持つ病院です。また、木曾川を挟んで愛知県と接しており、名古屋大学および岐阜大学の関連病院としての長年の実績があります。

急性期病棟（急性期一般入院科1）の他に、ハイケアユニット（HCU）病棟を有し、『救急車を断らない』ことをモットーとして急性疾患、専門的治療が必要な重篤な疾患の診療を行っています。同時に、緩和ケア病棟、地域包括ケア病棟を有し、チーム医療と全人的医療に心がけ、治療とケアが一体となった医療の実践により、地域医療に貢献しています。

## 院長メッセージ



当院は医師としての第一歩を踏み出す研修病院として、最も良い条件を備えていると自負しています。病床数は332床と中規模ですが、市内唯一の総合病院として症例数も多く、急性期から緩和ケアまで幅広い症例を経験することができます。加えて家庭的な雰囲気を持ち、コメディカルスタッフとの協力体制も万全で、充実したチーム医療を実践することが可能です。社会人として必要な基本的な挨拶、目上の人への対応、患者さんへの接し方など、接遇教育にも力を入れています。

研修中は、自分が将来進む分野について考える時期だと思えます。皆さんには専門的な知識や技術を吸収しつつも、多くの患者さんを幅広い視点から総合的に診療し、スペシャリストである前にジェネラリストとして必要な初期治療ができる医師を目指してほしいと思います。また、チーム医療において、医師はその中心的な存在です。医師だけでなく、多職種との横のつながりも持ち、信頼関係を築いて下さい。

新しい人生のスタートを、われわれと一緒に東海中央病院で迎えませんか？皆さんが充実した研修を行えるようにサポートします。

## 指導医メッセージ

プライマリ・ケアに適切に対応できる知識・技術の習得を初期臨床研修の第一の目標にしています。CPA等の救急搬送も多く、多彩な症例を経験することもできます。指導医による丁寧な指導のもと、各種手技の習得も早くから実施できますし、珍しい症例がある場合は研修医に声をかけて研修の機会を提供します。

医師としての能力はもちろん、人間として一人前になれるよう、接遇教育にも力を入れています。ほとんどの医師が同じ医局で過ごすため（研修医室は別室）、各診療科の敷居が低く、相談しやすいのも特徴です。職員間の垣根も低く、コメディカルの協力のもとにチーム医療を行っています。アットホームな雰囲気ある病院で、ぜひ初期研修を行ってください。

## 研修医メッセージ

当院は人口約15万人の各務原市にある総合病院です。初期研修の2年間は医師としての基本的な姿勢や知識の基礎を身につける時期なので、診療科を問わず様々な疾患を経験できる当院の研修プログラムは、実りのある時間を送ることができます。研修医各自が意欲的に取り組むことで、上級医の先生がたも熱心に指導をしてくださり、多くの手技・症例を早くから経験することができます。また、中規模の市中病院としては珍しく緩和ケア病棟があるなど、急性期のみならず様々な症例を研修できます。就業時間のメリハリが利いていて、プライベートの時間も充実しています。

実際に研修を始め、スタッフの皆さんも協力的でこの病院を選択して良かったと実感しています。皆さん、まずは一度、病院見学にお越しください。

## 研修スケジュール

1年次（内科：24週（一般外来研修：内科で並行研修）、救急：12週、外科：4週、麻酔科：4週、自由選択：あり）  
2年次（地域医療：4週、精神科：4週、産婦人科：4週、小児科4週、自由選択：あり）

例	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月												
	1年次	内科						救急			外科	麻酔	自由
	2年次	地域	精神	産婦人科	小児科	自由選択							

## 研修協力病院・施設

岐阜県総合医療センター（産婦人科・小児科）  
各務原病院（精神科）  
各務原リハビリテーション病院（地域医療）  
松波総合病院（産婦人科）  
岐阜大学医学部附属病院（産婦人科・小児科）

長良医療センター（小児科）  
フェニックス総合クリニック（地域医療）  
公立学校共済組合系列7病院（東北、関東、北陸、近畿、中国、四国、九州）  
岩砂病院・岩砂マタニティクリニック（産婦人科）

## 後期研修・専門研修

当院は基幹病院ではありませんが、これらの病院の連携病院となっています。研修できる診療科は限られていますが、可能な場合もありますので、まずはお問い合わせください。

- 岐阜県 岐阜大学医学部附属病院／岐阜県立多治見病院／松波総合病院／大垣市民病院
- 愛知県 名古屋大学医学部附属病院／愛知医科大学病院／小牧市民病院／春日井市民病院／一宮市立市民病院／名古屋医療センター（順不同）

## 研修プログラムの目標

卒後早期に臨床研修を希望する医師が、指導医のもとで基本となる医学・医療に関する知識や診療技術を習得することにより、基本的臨床能力を身につけ、プライマリケアに対応できるようなトレーニングを行うとともに、実際に医療現場で働きながら『医の倫理』を体得し、医師としての質の向上を図ることを目標とする。

## 研修プログラムの特徴

日頃よく遭遇する common disease から高度な診療レベルが要求される疾患まで経験でき、プライマリケアから専門的治療まで短期間で効率よく研修することが可能なプログラムとなっている。

必修科目以外の期間については各診療科より自由にローテート科を選択できるため、比較的自由度の高いプログラムとなっている。（院内の自由選択科では、1か月前までローテート科変更可能）

2年次の自由選択では、希望に応じて公立学校共済組合系列7病院（東北、関東、北陸、近畿、中国、四国、九州）にて研修を行うこともできる。

## 募集要項

応募資格：令和7年3月に医師免許を取得する見込みである者  
医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者  
募集人員：7名  
身分：非常勤職員  
給与：与：想定年収：1年次研修医 約700万円  
2年次研修医 約1,000万円  
住居：等：宿舎あり 賃貸の場合住居手当あり（上限25,000円）  
通勤手当あり（条件あり）  
保険：等：健康保険・厚生年金・雇用保険等各種保険完備  
その他：学会等出席補助あり

## 連絡先

電話番号：058-382-3101  
fax：058-382-1762  
E-mail：saiyo@tokaihp.jp

## 交通案内



JR（高山線） 蘇原駅下車 徒歩約15分  
名鉄（各務原線） 三柿野駅下車 徒歩約20分



# 岐阜赤十字病院

## 病院の概要

**開設時期**：大正12年  
**開設者**：日本赤十字社 社長 清家 篤  
**院長名**：林 昌俊  
**病床数**：311床  
**標榜科**：消化器内科、血液内科、感染症科、循環器内科、呼吸器内科、甲状腺・糖尿病内科、脳神経内科、総合診療科、腎臓内科、外科、甲状腺外科、精神科、整形外科、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、リハビリテーション科、リウマチ科、産婦人科、大腸・肛門科、放射線科、麻酔科、内視鏡科、病理診断科

**医師数**：57名  
**指導医師数**：24名  
**外来患者数**：581.3名／日  
**入院患者数**：192.8名／日  
**所在地**：岐阜市岩倉町3-36  
**URL**：https://www.gifu-med.jrc.or.jp/



## 病院の特徴

当院は、大正12年に日本赤十字社岐阜支部常設救護所として発足し、昭和24年に岐阜赤十字病院と改称、昭和37年に現在地に移転し、増改築を繰り返し現在に至っております。

病院の特徴については、①災害拠点病院、②1種感染症指定病院・2種感染症指定病院、③地域医療支援病院があります。①については、岐阜市において4病院が指定されており、地震・津波・台風等の災害発生時には災害医療を行う医療機関の支援をする病院に指定されております。②については、岐阜県において唯一の1種感染症指定病院となっており、エボラ出血熱などの患者が発生した際には保健所を通じて患者を診察します。③地域医療支援病院については、岐阜県において9病院が指定されており、地域で必要な医療を確保するためにかかりつけ医やその他の病院から、より詳しい検査や専門的な治療が必要な患者様について紹介を受け、病診連携、病病連携を図っております。

診療については、甲状腺・糖尿病内科と外科が連携し、甲状腺外科手術を数多く行っております。その外科においては、肛門科手術、また、眼科の白内障手術については、県下トップレベルの手術件数です。女性泌尿器科（ウロギネ）についても他の病院には無い分野となっております。臨床研修病院としては、卒後臨床研修機能評価機構（JCPEP）による「臨床研修評価」を受審し、より質の高い研修内容を目指しております。

## 院長メッセージ



林 昌俊  
(外科)

当院は全国に96施設ある赤十字医療施設の一つで、大正12年に日本赤十字社岐阜支部常設救護所として発足した病院です。人道、博愛の精神のもとに、岐阜市北部の中核病院として急性期から在宅医療まで幅広く地域医療を支えています。赤十字には使命の一つに人材育成があります。プライマリー・ケアが適切に行える知識や技術の習得はもちろんのこと、赤十字精神をもち全人的診療を行えるように研修医を育成することも使命と考えています。また、平成29年には卒後臨床研修評価機構の基準を満たし認定病院となりました。

当院は指導医とのマンツーマン方式による指導を基本としており、中規模病院の特性を生かした病院全体で垣根のない研修をサポートします。また赤十字グループのネットワークを活用し、県内外の赤十字施設で院外研修が行え、他施設で働く多くの研修医との交流も出来ます。ぜひ、当院と一緒に研修しましょう。

## 指導医メッセージ

当院はこれまで、研修をより良いものにするため、プログラムの変更を重ねてきました。2年次は、秋田赤十字病院での救急救命センターでの研修を行っています。救急専門医の指導を受ける機会はまだとない経験になるものと思います。研修医による症例検討を月1回実施しております。希望があればいつでも見学OKです。ご連絡ください。

当院は、中規模病院で小回りが効くという特徴を活かし、研修医の要望に沿って自由度の高い研修を行っています。2年次は必修研修を短期間とし、本人の希望する内容の研修を手厚く受けられるよう配慮しています。研修医の募集は少人数で、各科を重複しないように研修を行っています。一人一人の研修をその科全体でバックアップする体制としています。

当院の研修医と会って、彼らの声を実際聞いてみてください。見学をお待ちしております。

## 研修医メッセージ

岐阜赤十字病院における臨床研修の最大の特徴は、少人数制で研修内容に研修医自らの意見が反映され、実践できることです。少ない期間の中でいかにして多くのことを学び、実践できるようになるかは、研修医と指導医のコミュニケーションと工夫によるところが多いのが現実です。そういう点で、岐阜赤十字病院は、指導医の先生との相談によって自らの研修を組み立てられます。

様々な科で別々のことを学んでいるようでありながら、実際はそれらが少しずつオーバーラップし、日々積み重なっていくのを感じている毎日です。より多くのことを学ぶチャンスに恵まれている岐阜赤十字病院と一緒に研修しませんか。

## 研修再開を希望される皆さんへ

当院では、他施設で初期臨床を中断された方の受け入れを行っています。研修再開につきましては、ご本人の要望を尊重し、中断前の研修実績を考慮した上で、スムーズな研修が行えるよう病院全体でサポートさせていただきたいと思っています。

研修再開のご相談や病院見学等、随時受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。

## 研修スケジュール

研修スケジュールは、各科研修医が重複しないよう配慮し指導医が必ず目が届くよう構成いたします。

【1年次】内科6ヶ月、外科1ヶ月、救急2ヶ月、外来研修1ヶ月、選択科2ヶ月  
【2年次】救急（3次）1ヶ月、地域医療1ヶ月、小児科1ヶ月、産婦人科1ヶ月、精神科1ヶ月、選択科7ヶ月  
※必修研修を短期間とし、本人の希望する内容の研修を手厚く受けられるよう配慮しています。

例1		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	1年次	内科						救急	外科	外来	選択		
	2年次	選択	小児科	産婦人科	救急	地域医療	精神科	選択					

例2		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	1年次	外科	救急	内科						外来	救急	選択		
	2年次	選択	精神科	救急	選択	地域医療	産婦人科	小児科	選択					

## 研修協力病院・施設

秋田赤十字病院  
高木医院  
医療法人社団雄会石村内科  
医療法人社団ともいき会小牧内科クリニック  
岐阜県赤十字血液センター  
揖斐郡北西部地域医療センター  
医療法人社団清仁会川出医院  
独立行政法人国立病院機構長良医療センター

岐阜県総合医療センター  
岐阜市民病院  
岐阜大学医学部附属病院  
高山赤十字病院  
各務原病院  
旭川赤十字病院  
美濃市立美濃病院  
日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院

## 後期研修

当院は、連携施設として岐阜大学医学部附属病院などの基幹病院と連携して後期研修を行うことが可能です。診療科については、内科、外科、整形外科、泌尿器科、放射線科、麻酔科などがあります。

## 研修プログラムの目標

赤十字の理念のもと、基本的な臨床の知識と技能を身に付けると共に、患者、家族、他の医療スタッフとの間に良好な人間関係を気づくことを目標とする。

## 研修プログラムの特徴

- ①少人数でアットホーム  
すべての職員が研修医の顔と名前を覚えているため、温かい人間関係の中で研修ができます。また、指導医とは常にマンツーマンで指導を受けることができます。
- ②意見を尊重したオーダーメイド研修  
診療科のローテートは予め全てを決めることなく、本人の要望を聞きながら決めるため、途中の進路変更にも柔軟に対応できます。また、2年間のうち9ヶ月間は選択研修のため自由度の高い研修ができます。
- ③実践型の研修  
多様な症例に対して、研修医が主体的に関与して研修しています。
- ④地域、他の赤十字病院との連携による研修  
赤十字のネットワークを活かして、特徴のある診療科を持つ他の赤十字病院や、地域の医療機関での院外研修が可能です。

## 募集要項

**応募資格**：令和7年3月に医師免許を取得する見込みである者  
医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者

**募集人員**：4名  
**身分**：常勤嘱託  
**給与**：与：1年次：460,000円/月（賞与700,000円/年）  
年収平均：7,327,152円（R4年度実績）  
2年次：535,000円/月（賞与1,100,000円/年）  
年収平均8,303,136円（R4年度実績）  
手当：通勤手当、時間外手当、特殊勤務手当、年末年始手当

**住居**：等：単身用8室（1DK月額16,000円）  
**保険**：等：雇用保険、健康保険、厚生年金保険、労災保険、勤務医師賠償責任保険

## 連絡先

岐阜赤十字病院 総務課 人事係  
電話番号：058-231-2266  
fax：058-233-7772  
E-mail：kensyu@gifu-med.jrc.or.jp

## 交通案内



- ・JR岐阜駅、名鉄岐阜駅より岐阜バス「加納南線」乗車「岐阜赤十字病院前」停留所下車徒歩5分
- ・お車でお越しは、長良川にかかる金華橋、忠節橋を目印にしてください。



# 岐阜県厚生農業協同組合連合会飛騨医療センター 久美愛厚生病院

## 病院の概要

開設時期：昭和14年10月2日  
開設者：岐阜県厚生農業協同組合連合会  
院長名：山本 昌幸  
病床数：300床（一般：239床（緩和ケア23床含む）、感染4床、結核8床、地域包括ケア49床）  
標榜科：内科、循環器内科、心療内科、小児科、外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科  
医師数：35名  
指導医師数：19名  
外来患者数：428名／日  
入院患者数：176名／日  
所在地：岐阜県高山市中切町1-1  
URL：http://www.kumiai.gfkosei.or.jp/



## 病院の特徴

当院は2012年に移転し、病床数は300床の救急告知病院です。飛騨地域唯一の緩和ケアセンター・感染病床・結核病床があります。また、健診センター、医療介護センターを併設しています。

広大な飛騨医療圏で二次救急医療を担っているため、あらゆる急性期疾患に対応する、地域の中核病院としての役割が求められます。専門性の高い医療が必要な場合には、常設ヘリポートを利用し、救急搬送窓口としての対応を行います。また、高齢者が多い地域のため、在宅医療へのスムーズな移行を目指した、地域包括ケアシステムとしての役割もあり、訪問看護・訪問リハビリ事業も行っていきます。

地域住民の生命と健康を守る活動として、患者の実生活を把握するなど、疾病と健康活動能力を総合的に考察した取り組みを行う中で、飛騨地区住民の健康が保たれるように、スタッフ一同全力を尽くしています。

## 院長メッセージ



山本昌幸  
(脳神経外科)

当院は地方にある中規模病院です。中部縦貫自動車道・高山インターに近いため各方面からのアクセスも良く、また病棟から真正面に乗鞍岳の雄姿を望めることが何よりの特徴です。常勤医師数は少なく初期研修医も1年次3名と少数ですが、研修医が少ないことをメリットに変え、大規模病院とは違った取り組みをしています。「地域包括ケアから海外医療まで。実践こそが、研修でしょ？見ていただけなんてありえない。」をモットーに、少数精鋭だからやりたいことを徹底的にやれ、臨床能力が早く・確実に身につく研修を行っております。指導医はほとんどがローテート研修経験者です。研修医一人ひとりの特徴、志向、手技や知識の達成度をきめ細かく把握した上で丁寧に指導します。また積極的に診察、検査、手術に呼び、手技はマンツーマンで教えます。

北アルプスに抱かれながら、有意義な研修を受けてみてはいかがでしょうか？

## 指導医メッセージ



横山敏之  
(呼吸器内科・感染症)

初期研修では、医師としての診療姿勢の基礎を形成する時期であり、患者やその家族と全人的に向き合い、院内スタッフや地域とも協力し合い最高の医療を提供できるようになることを目的とします。当院では、救急疾患から慢性期や緩和ケアまで一貫したプライマリケアを研修できます。地域包括ケアについても積極的に参加して地域にとってなくてはならない医師になっていただきたいと思います。研修病院としての歴史は長く、研修医定員は少数のためベテランの上級医のマンツーマンの指導を十分に受けることができます。また、2年次はその後のキャリア形成に移行できるように選択可能期間を長くとしています。

地域医療に関心のある方、自然豊かな観光地高山で研修したい方、やさしいスタッフや患者さんと研修をしたい方、ぜひ見学に来てください。

## 研修医メッセージ

当院の初期研修では研修医の人数が少ないため、指導医の先生方からマンツーマンで手厚い指導を受けることができます。都会の研修医が多い病院では症例や手技の取り合いがあるという話を伺いますが、当院ではそのようなことはなく積極的になればなるほど様々な手技を数多く経験できます。また、興味深い症例や練習したい手技があれば、違う科をローテート中でも呼んでいただけるのは当院ならではのメリットだと思います。

当院は二次救急病院で、日当直業務は上級医1名と研修医1名がセットになって行います。基本的にファーストタッチは研修医が行いますが、検査や治療の方針を上級医の先生と相談して決めることができるため、安心して研修することができます。三次救急を経験したいとの希望があれば、大垣市民病院等で研修を行うことも可能です。

高山という土地柄故か、患者さんや病院スタッフの皆さんも優しい方が多く、良い雰囲気です。ストレスなく研修することができます。また、高山は食べ物美味しく観光スポットも多いため、休日に退屈することはありません。交通費や宿泊費の補助もありますので、興味のある方は是非見学にお越しください。

## 研修再開を希望される皆さんへ

当病院では、中途再開者の皆さんへ広く門戸を開いています。研修再開を希望される方は、当院へお問い合わせください。

## 研修スケジュール

1年次	内科 (26週)					外科 (13週)		救急 (13週) 脳外科・整形外科・麻酔科(各4週)
2年次	地域医療 (6週)	小児科 (4週)	産婦人科 (4週)	精神科 (4週)	保健・医療行政 (2週)	泌尿器科・皮膚科・眼科 耳鼻咽喉科(各2週)	在宅医療 (1週)	自由選択 (23週)

## 研修協力病院・施設

(協力型病院)	(協力施設)	(協力型病院)	(協力施設)
高山赤十字病院 富山大学附属病院	須田病院	大垣市民病院	土岐市立総合病院
東濃厚生病院 西濃厚生病院 高根診療所 荘川診療所	中濃厚生病院 岐阜ハートセンター 朝日診療所 宮川診療所	揖斐厚生病院 ひだ在宅クリニック 久々野診療所 河合診療所	岐北厚生病院 飛騨保健所 清見診療所

## 研修プログラムの目標

医師が医師としての人格を涵養し、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる疾病に、適切に対応できる診察能力を身につけることを第一の研修目標とします。

## 研修プログラムの特徴

- 1、基本知識・技能の修得  
内科研修に十分な時間をかけ、病歴聴取、身体観察、鑑別診断、臨床推論などの知識・技術・思考過程と、感染症診療、栄養管理、水分管理などの基本原則といった将来どの診療科に進むとしても必要となる基本を身につけます。
- 2、救急への対応  
救急外来、手術室での麻酔管理研修を通じて、気道確保・気管内挿管の手技や循環動態・病態生理の理解をし、救急や急変時に頼りにされる医師を育てます。
- 3、患者中心の医療の理解と実践  
主治医として診療を担当し、指導医とともに真摯に患者と向き合える人間としての総合力を築きます。また、当院では診療科の垣根が低く科をまたいだ診療に参加でき、あるいは多職種連携も取れており、患者に全人的に関わることができます。
- 4、地域医療の理解と実践  
高山市は都市部とは隔離された土地で東京都と同じ面積に約8万人が生活し、当院は中核病院として急性期から慢性期、緩和ケアに渡る幅広い医療を実践し、住民の健康管理にも力を入れています。地域における医療の役割を理解することを目指します。また、保健所研修を通じて地域での医療行政を学びます。

## 募集要項

応募資格：令和7年3月に医師免許を取得する見込みである者  
医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者  
募集人員：3名  
身分：嘱託常勤職員  
給与：与：1年次 490,000円(手当込)／月 賞与980,000円  
2年次 540,000円(手当込)／月 賞与1,220,000円  
年収 1年次 7,700,000円(手当込)(令和4年度平均実績)  
年収 2年次 8,000,000円(手当込)(令和4年度平均実績)  
住居等：医師住宅あり・賃貸住宅居住者には家賃補助あり  
保険等：各種保険制度あり

## 連絡先

久美愛厚生病院 企画総務課  
TEL: 0577-32-1115  
FAX: 0577-34-7115  
E-mail: soumu-3@kumiai.gfkosei.or.jp

## 交通案内



JR 高山駅より車で15分



# 社会医療法人厚生会中部国際医療センター

## 病院の概要

開設時期：昭和28年  
 開設者：社会医療法人厚生会  
 院長名：出口 隆  
 病床数：502床  
 標榜科：内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、内分泌代謝内科、呼吸器内科、血液内科、神経内科、外科、心臓血管外科、乳腺外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、小児科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、形成外科、放射線科、放射線治療科、麻酔科、緩和ケア科、病理診断科、リハビリテーション科、救急科、総合診療科、精神科、腫瘍精神科、臨床検査科、歯科口腔外科

医師数：156名  
 指導医師数：65名  
 外来患者数：1,067名/日  
 入院患者数：447名/日  
 所在地：美濃加茂市健康のまち一丁目1番地  
 URL：https://cjmhc-hp.jp/



## 病院の特徴

### 「地域の、日本の、世界の医療拠点へ」

「全ては病める人のために」という理念のもと、2022年1月に「中部国際医療センター」として新たなスタートを切りました。「中部国際医療センター」という名前には、「世界に通用するハイレベルな医療を提供する」という決意が込められています。そのために、新しい医療機器や質の高いスタッフ、充実した設備を配した医療体制を整え、満足度の高い医療を提供します。地域の健康を守る新たな拠点「健康のまち一丁目1番地」で、健康診断から高度な治療、病後のヘルスサポートまで「健康」を幅広くサポートすることで、地域の皆さんを支えています。

## 院長メッセージ



出口 隆

地域医療の場において医師には多くの期待が寄せられていますが、是非とも研修期間中に組織の一員として、病院全体の運営状況にも興味を持って学んでいただきたいと思います。それが将来的に独り立ちする時の貴重な財産として大いに役立つものと思います。多くの方が目指す専門分野も医療全体の中の一部であり、医療をとりまく社会環境も分からなければ、その専門性は十分に達成されないばかりでなく、地域住民や社会に受け入れられないこととなります。そのため組織における研修医という立場にあって自らを律し、かつ、自己の能力を啓発して、自己目標を存分に達成することが期待されます。研修医には「医療とは何か?」「医師として何が必要か?」の問題意識を常に持ち、自身の医師としての評価をさらに高めるように努力していただきたいと思います。

## 指導医メッセージ

当院では、より良い診療をするための能力を身につけるのに必要な小児から高齢者の方まで、ごくありふれた疾患から稀な疾患まで、地域医療に密着した医療現場の中で確実に数多く経験できます。そして極めて基礎的なベッドサイド診療から高度先進医療機器による診療に至るまで幅広く研修が行われます。2013年度からはメンター制度を導入し、1人の研修医に各年代の上級医3人程が入ったグループを形成、医療的なことのみならず、さまざま院内生活での悩み事などを気軽に相談したり、話し合ったりできます。当院の研修では、研修医諸君は限りなく余計なストレスのない協力的な環境のなか、医師としての自らの夢や希望に向かってその才能を遺憾なく開花すべく、日々の研修に邁進できるものと確信しています。どうぞ輝かしい医師生活のスタートを私たちと始めましょう。

## 研修医メッセージ

中部国際医療センターの研修は自主性が高く、かつ行った手技や検査に上級医からのフィードバックが得られる点が特徴です。当院以外にも自主性が高くやる気があれば多くの手技を経験できる病院はあると思いますが、当院での研修では更に自分が行ったことに対する評価や改善すべきところを学ぶことができるため、効率よく知識や技術を吸収できます。また日直、当直業務が週に1回程度ありますが、研修医1名と上級医1名がセットになって行っており、研修医1人で患者さんを帰宅させることはめったにありません。研修医が主となって患者さんを診ますが、状態の評価や今後の対応をどうするのかは上級医と一緒に考え進めていくため、安心して業務にあたることができますし、1人で診るよりはるかに勉強になります。是非一度見学に来ていただき、当院のよさを実感していただければと思います。

## 研修スケジュール

	クール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1年次		内科 24週						救急部門 12週		小児科 4週	外科 4週	精神科 4週	
2年次		産婦人科 4週	総合診療 4週	地域医療 4週	選択36週(内科、外科、整形外科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、放射線科、小児科、産婦人科、麻酔科、皮膚科、形成外科、救急部門、精神科、病理診断科)より複数科選択する。この選択科に関しては履修済みの科を再選択することもできる。								

- 1) 研修スケジュールは1クール4～5週として、年間12クールに振り分ける。
- 2) 救急当直研修は4回/月、1年次10カ月、2年次12カ月、合計22カ月実施する。
- 3) 1年目については、必修である内科24週、救急科12週、小児科4週、外科4週、精神科4週を履修する。
- 4) 2年目では必修である産婦人科4週、総合診療科4週、地域医療8週(内、一般外来4週、在宅医療1週を並行研修)を履修する。残り選択32週間は、各科で学んだ総合的診療能力をもとに、選択科(内科、外科、整形外科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、放射線科、小児科、産婦人科、麻酔科、皮膚科、形成外科、救急部門、精神科、病理診断科)より複数科選択する。この選択科に関しては履修済みの科を再選択することもできる。

## 研修協力病院・施設

特定医療法人清仁会 のぞみの丘ホスピタル(精神科) 国立病院機構 長良医療センター(呼吸器内科) 社会医療法人白鳳会 鷺見病院(地域医療)  
 社会医療法人厚生会 多治見市民病院(腎臓・リウマチ膠原病内科) 郡上市民病院(地域医療) 津保川診療所(地域医療)  
 飛騨市民病院(地域医療)

## 後期研修・専門研修(予定)

中部国際医療センターでは、5領域の基幹プログラム(内科・皮膚科・麻酔科・救急科・総合診療科)、17領域の他基幹施設プログラムの連携施設となっております。

専門領域	内科	小児科	皮膚科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理	精神科	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリ	総合診療科
指導医数	20	3	2	9	3	1	1	2	6	8	4	7	2	1	1	2	1	1	7
基幹施設	●		●									●				●			●
連携施設	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲			▲	▲	▲		▲

【連携プログラム一覧】※他基幹施設プログラムで中部国際医療センターが連携施設

専門領域	基幹施設	専門領域	基幹施設	専門領域	基幹施設
内科	岐阜大学、愛知医科大学、松波総合病院 岐阜市民病院、岐阜県総合医療センター 多治見市民病院	産婦人科	福井大学	麻酔科	岐阜大学
小児科	岐阜大学	眼科	名古屋市立大学	病理	岐阜大学
皮膚科	岐阜大学、名古屋市立大学	耳鼻咽喉科	岐阜大学	臨床検査	岐阜大学
外科	岐阜大学	泌尿器科	岐阜大学	救急科	岐阜大学
整形外科	岐阜大学、岐阜県総合医療センター	脳神経外科	岐阜大学	形成外科	愛知医科大学
		放射線科	岐阜大学	総合診療科	岐阜大学

## 研修プログラムの目標

医師としての人格を涵養し、医学・医療の社会的ニーズを認識して日常診療で遭遇する疾病に適切に対応できるよう、基本的・専門的診療能力(態度、技能、知識)を身につける。

- 1) 医師としての良識と品格を身につける。
- 2) 安全で安心な医療を行うための基本的診療能力を習得する。
- 3) 地域の基幹病院としての役割を理解し、地域医療の現場を経験する。
- 4) 患者さんの立場に立った人間味のある医療を目指す。
- 5) 多職種とコミュニケーションをとり、チーム医療を推進する。
- 6) 国際的に活躍できる医療人の養成を目指す。

## 募集要項

応募資格：2025年3月に医師免許を取得する見込みである者  
 募集人員：12名  
 身分：常勤臨床研修医師  
 給与：与：初期研修1年目 700万円/年(諸手当含む)  
 初期研修2年目 850万円/年(諸手当含む)  
 住居：等：オール電化1Kタイプマンション、インターネット、セキュリティ完備、当院より徒歩5分  
 保険：等：健康保険加入、厚生年金、雇用・労災保険加入、医師賠償責任保険に病院で加入(個人加入は本人による)

## 連絡先

中部国際医療センター 臨床研修医募集係(担当：小川・井村・牧野)  
 電話番号：0574-66-1100  
 fax：0574-66-1661  
 E-mail: resident@cjmhc-hp.jp

## 研修プログラムの特徴

当院は、地域医療に密着した医療現場で、小児から高齢者にといたるさまざまな年齢層の日常的な診療から高度医療機器を利用した最新の医学診断にいたる幅広い分野の研修を行うため、総合診療能力を高めることができます。全科の支援体制が整備されているので、必要時には他科へのコンサルテーションが可能です。特に、2年目の研修に関して、選択研修期間を大幅に延長し、診療科の選択自由度が高く、選択履修の範囲を広げるために、例えば、耳鼻科+眼科で1クールといった、2週間ずつマイナーな診療科の症例経験を重ねることができる「マイナーバック制度」を選択することが可能です。研修医ごとにさまざまなパターンプログラムになり、従来以上に個別化された研修医オーダーメイドのプログラムにすることができます。

## 交通案内





# 岐阜県厚生農業協同組合連合会中濃厚生病院

## 病院の概要

開設時期：昭和23年1月10日  
開設者：岐阜県厚生農業協同組合連合会  
院長名：勝村 直樹  
病床数：495床  
標榜科：内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、神経内科、心療内科、血液内科、腎臓内科、小児科、外科、肛門外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、リハビリテーション科、放射線科、内分泌内科、肝臓内科、消化器内視鏡内科、消化器外科、血管外科、肝臓・胆嚢・膵臓外科、乳腺内分泌外科、神経小児科、呼吸器外科、病理診断科、救急科、歯科口腔外科

医師数：119名  
指導医師数：50名  
外来患者数：915.8名/日  
入院患者数：306.5名/日  
所在地：関市若草通5-1  
URL：http://www.chuno.gfkosei.or.jp/



## 病院の特徴

鶉飼で知られる長良川中流域の関市に立地し、長良川流域の美濃市・郡上市を含む人口約15万人の地域をカバーする中濃医療圏の基幹となる医療機関です。救命救急センターを併設する急性期病院であり、一般診療から3次救急医療まで高度で幅広い医療を地域に提供しています。

## 院長メッセージ



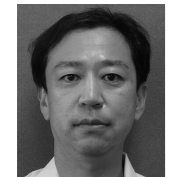
勝村直樹

中濃厚生病院は中濃地域の中でも、関市・美濃市・郡上市といった長良川上流～中流域を中心とした地域の中核病院であり、地域の中で医療を完結できるよう整備を進めてきております。三次救急医療施設、へき地医療拠点病院、第二種感染症指定医療機関、地域災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携拠点病院等の指定も受けており、幅広い医療を地域に密着して行っています。

初期臨床研修・専門医研修ともに、Generalistを目指す人も、Specialistを目指す人も、自分のキャリア形成をすすめていく上でのエネルギーとなるのは、「患者さんやスタッフから信頼され感謝されること」「患者さんに感動を与え、患者さんから感動を頂くこと」ではないでしょうか。そのためには、日々研鑽し、自己を成長させ続けること、成長を実感できることが必要であり、それが何年たっても医師という仕事に興味を持ち続けることができることにつながると思います。

当院での研修でたくさんの「感動」を経験し、生涯にわたっての長い医師生活を充実させるためのCoreになる部分を充実させて欲しいと思います。是非、我々と共に中濃厚生病院で成長していきましょう。

## 指導医メッセージ



白木 亮

当院の指導体制は日直を含めて指導医と上級研修医との「屋根瓦方式」で行っています。当院の研修では、まず、必修科目である研修を通して臨床医として必要な「基礎診療能力」と「医師と患者さんの良好な関係を構築する力」を、豊富な症例を経験しながら身に付けて行きます。患者さんに共感する力を鍛えるとともに、患者さんとの感動のやりとりを体験してもらいたいと思います。また、2年目には自身の将来進みたい方向を見据えた上で、多彩な診療科の中から選択した診療科での研修を通してモチベーションを高めながら、その後の専門研修へとシームレスに移行できるよう基礎固めを行います。初期研修修了後、また、専門研修修了後のいずれも、当院は皆さんが望む方向で成長を続けられるよう多様なキャリア形成の支援を行います。

## 研修医メッセージ

(初期研修修了者)  
中濃厚生病院での2年間の初期研修では、様々な疾患を経験することができ、また、各ローテ診療科の研修では指導医や上級医の先生方からの熱心なご指導もあり多くのことを学びました。当院の魅力は、三次救急病院であり common disease から重症まで幅広く経験できることや、内科系・外科系ともに手技を経験できる機会が多いところです。また、地域に根ざした病院であり、地域医療にも貢献できます。

患者さんも優しいですが、病院で一緒に働く職員の方々も優しく、とても働きやすい環境だと思っています。

私は、当院で専門研修(後期研修)を開始しましたが、困った時は科の垣根を超えて多くの先生がアドバイスをくださり、当院を希望して良かったと感じています。最近では県外からの研修医も増えています。ぜひ一度見学にお越しください。

(2年次研修医)  
中濃厚生病院は岐阜県の中濃地区の中核病院であるため軽症例から重症例まで幅広く経験することができます。当直で経験した症例は毎回研修担当の先生からフィードバックを受けることができ、自分の診療を振り返る良い機会となっています。各科の先生方、スタッフの方も優しい方ばかりで働きやすい環境であることも魅力であると思います。ぜひ一度見学にお越しください。

(1年次研修医)  
中濃厚生病院は多くの診療科が揃っており、上級医による指導体制が充実しているためさまざまな手技を経験することができます。当直では2年目の先生や上級医と一緒に入るので困ったことがあればサポートが受けられる環境となっています。研修医同士で切磋琢磨しながら充実した研修ができます。県外からの研修医も多いので岐阜県の方はもちろん、県外の方もぜひ見学にお越しください。

## 研修再開を希望される皆さんへ

当病院では、中途再開者の皆さんに広く門戸を開いています。研修再開を希望される方は、当病院へお問い合わせください。

## 研修スケジュール

当院の研修スケジュールは、1年目に内科24週、救命救急12週(麻酔科4週を含む。)、小児科4週、外科4週、産婦人科4週を、2年目に地域医療4週、精神科4週を研修します。残り期間は研修医の希望に沿って自由に研修先を選択することができます。

コース別	1年次	2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内科(24週)・救急(8週)・麻酔科(4週)・外科(4週)・小児科(4週)・産婦人科(4週)・オリエンテーション(2週)・調整週(2週)	地域医療(4週)・精神科(4週)												
			選択診療科(44週)											

## 研修協力病院・施設

(協力型病院)	(協力施設)	(協働施設)
医療法人春陽会慈恵中央病院	岐阜県関保健所	岐阜県赤十字血液センター
岐阜県関保健所	郡上市市民病院	関市国民健康保険板取診療所
郡上市市民病院	関市国民健康保険津保川診療所	岐阜県立下呂温泉病院
関市国民健康保険津保川診療所	東北西部地域医療センター国保高鷲診療所	東北西部地域医療センター国保白鳥病院
東北西部地域医療センター国保高鷲診療所	岐阜ハートセンター	高山市国保庄川診療所
岐阜ハートセンター		みどり病院

## 後期研修・専門研修

- 内科(定員5名)……中濃厚生病院を基幹病院として、岐阜大学医学部附属病院・岐阜県総合医療センター・岐阜市民病院・関中央病院・美濃市立美濃病院・郡上市市民病院・岐阜県立下呂温泉病院・東濃厚生病院・揖斐厚生病院・久美愛厚生病院・岐阜厚生病院・西美濃厚生病院・下呂市立金山病院を連携施設、東北西部地域医療センター(白鳥病院・和良診療所)・津保川診療所を特別連携施設としています。
- 麻酔科(定員2名)……中濃厚生病院を基幹病院として、岐阜大学医学部附属病院・岐阜県総合医療センター・岐阜市民病院・総合大雄会病院・松波総合病院を連携施設としています。
- その他16領域のほとんどは連携施設として、各基幹施設の専門研修プログラムに参加しています。

## 研修プログラムの目標

医師として必要な「基本的な価値観」、「到達すべき資質・能力」、「基本的診療業務」を身に着けます。

忙しくても誇りを持って楽しく仕事をすることができ、患者さんや家族との良好な関係の構築とともに患者さんのもとへ何度でも厭わずに訪れ、患者さんから学び姿勢を持ち、自己の成長に繋げることを目標とします。

## 研修プログラムの特徴

当院の研修プログラムでは、清流長良川を若鮎が遡上していきながら成長していく姿をイメージし、初期研修医がよい環境の中で、日々成長し誇りを持って楽しく仕事ができる、一人前となる医師育成を目指していきます。

このため、研修医は、患者さんの初診・入院から退院・通院まで一貫して担当医として関わり、患者さんの問題解決に至るまで責任を持って対応しながら、問題解決能力を身に付けていきます。また、研修では患者さんのベッドサイドに足繁く通うことを第一として、EBM(Evidence-Based Medicine)だけでなく、NBM(Narrative-based Medicine)も大事にします。

## 募集要項

応募資格：令和7年3月に医師免許を取得する見込みである者  
医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者

募集人員：10名

身分：嘱託常勤職員

給与：1年次 約560,000円(手当込) / 月 賞与 980,000円  
2年次 約600,000円(手当込) / 月 賞与1,250,000円  
年取 1年次 約7,700,000円(手当込)(令和4年度平均額)  
2年次 約8,450,000円(手当込)(令和4年度平均額)

住居等：住居手当として最大27,000円を補助

保険等：各種保険制度有り

## 連絡先

中濃厚生病院 企画総務課 臨床研修担当  
電話番号：0575-22-2211  
fax：0575-24-7139  
E-mail：soumu5@chuno.gfkosei.or.jp

## 交通案内



- 車でお越しの場合  
東海北陸自動車道 関ICより約10分  
東海北陸自動車道 美濃ICより約10分
- 公共交通機関をご利用の場合  
長良川鉄道 関市役所前駅下車 徒歩約15分  
岐阜バス 岐阜関線 関シティーターミナル下車 徒歩約20分



# 岐阜県厚生農業協同組合連合会東濃中部医療センター 東濃厚生病院

## 病院の概要

開設時期：昭和13年5月23日  
 開設者：岐阜県厚生農業協同組合連合会  
 院長名：安藤 修久  
 病床数：270床  
 標榜科：内科、循環器内科、消化器内科、神経内科、脳神経外科、外科、整形外科、小児科、産婦人科、泌尿器科、皮膚科、耳鼻咽喉科、眼科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科、アレルギー科、病理診断科、血管外科  
 医師数：35名  
 指導医師数：11名  
 外来患者数：550.9名/日  
 入院患者数：158.3名/日  
 所在地：瑞浪市土岐町76-1  
 URL：http://www.tohno.gfkosei.or.jp/



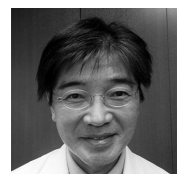
## 病院の特徴

当院は昭和13年農協の病院として開院以来、岐阜県東濃地方の瑞浪市に位置し、地域の中核病院として一般医療から救急医療・予防医療まで幅広く機能している総合病院です。地域の皆様に愛され親しまれそして信頼される病院を目指すために、平成21年からは研修医を受け入れ、より活気ある明るい職場環境も整ってきました。

高齢化社会をむかえて、患者様の病態も複雑化しており、治療も複数の診療科にまたがることも増えてきました。当院では各診療科での医療情報を共有し、経験豊かな医師・看護師・パラメディカルなどの全職員が協力して、質の高い「チーム医療」の実践に努めています。また病気の一次予防・二次予防を目的として健康管理センターも機能して巡回検診活動・人間ドッグ・栄養相談・健康相談などを行っています。

令和7年度には、隣の土岐市にあります土岐市立総合病院と一病院化し、新たに400床規模の病院を建築予定です。

## 病院長メッセージ



安藤修久

東濃厚生病院は人口3万9千人の瑞浪市唯一の基幹病院です。瑞浪市はJR中央線千種駅から40分、病院は瑞浪駅より徒歩7分のところにあります。岐阜県にあるとはいえ、鉄道も高速道路も名古屋に向かっていて、想像されるより名古屋に近く、通勤も十分可能です。

当院は1938年（昭和13年）に旧昭和病院として設立され、戦争中は名古屋大学病院の疎開先ともなった由緒ある病院です。2003年7月には全面改築を行い、名称も東濃厚生病院に変更しました。地域の中核病院として一般医療から救急医療・予防医療まで幅広く機能している総合病院です。

高齢化社会を迎え、患者様の病態も複雑化し、治療も複数の診療科にまたがるものが増えてきました。情報の共有化と経験豊かなスタッフが協力して、質の高いチーム医療の実践に努めています。

## 指導医メッセージ

当院は東濃地域の二次医療を担う中核病院です。

毎年、研修医が殺到し経験症例数が少なくなってしまう大規模病院ではなく、救急医療をはじめ、比較的早い段階から基本的な症例が体験でき、研修医の希望に合わせた、柔軟なプログラムで教育熱心で経験豊富な指導医によるマンツーマンでの教育環境を準備しています。

臨床研修病院としての社会的地位の貢献を果たすためにも、今後の当院のロールモデルとなってくださる気鋭の研修医をお待ちしております。興味をお持ちの方は随時、病院見学・実習を受け付けておりますのでご連絡ください。

## 研修再開を希望される皆さんへ

当院では、中断者の皆さんに広く門戸を開いています。研修再開を希望される方はお問い合わせください。

## 研修スケジュール

患者を全人的に診ることのできる医師としての基本的診療機能を身につけ、プライマリ・ケアに対応できる臨床医としてのトレーニングを行う。2年目の研修後を見据えた柔軟性を持たせたプログラムとなっている。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	救急部門			内科			麻酔科	内科			外科	選択科目
2年次	選択科目	小児科	産婦人科	選択科目			精神科	地域医療	選択科目			

## 研修協力病院・施設

協力病院 岐阜県立多治見病院 土岐市立総合病院	愛知医科大学病院	大湫病院
協力施設 中濃厚生病院 岐北厚生病院 恵那市国民健康保険山岡診療所	久美愛厚生病院 西美濃厚生病院 市立恵那病院	揖斐厚生病院 高山厚生病院

## 研修プログラムの目標

プライマリ・ケアに求められる基本的な知識・技術の習得を目標としています。救急医療をはじめ、早い段階から基本的な症例を体験することができ、研修医の経験・力量に合わせた適正な指導が受けられます。

## 研修プログラムの特徴

診療科間での隔たりがなく、何でも聞きやすい環境にあり、一つの症例を様々な角度から検証することができます。また、待遇や研修内容の変更など、研修医自身の選択に柔軟に対応できる方式をとっています。中規模病院のため、各部門スタッフとの交流もあり、アットホームな雰囲気の中で勉強していくことができます。

## 募集要項

応募資格：令和7年3月に医師免許を取得する見込みである者  
 医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者  
 募集人員：4名  
 身分：常勤嘱託医  
 給与：与：年収750～850万円程度（基本給・賞与・その他手当を含みます）  
 住居等：有  
 保険等：健康保険・厚生年金・労働保険加入

## 連絡先

東濃厚生病院 企画総務課  
 電話番号：0572-68-4111  
 E-mail: soumuka@tohno.gfkosei.or.jp

## 交通案内



JR中央線瑞浪駅より徒歩7分

# 羽島市民病院

## 病院の概要

開設時期：昭和30年10月8日  
開設者：羽島市  
院長名：山田 卓也  
病床数：281床  
標榜科：内科、総合内科、腎臓内科、血液内科、内分泌・糖尿病内科、リウマチ科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、臨床検査科、人工透析内科  
医師数：34名  
指導医師数：19名  
外来患者数：411名／日  
入院患者数：173名／日  
所在地：羽島市新生町3-246  
URL：https://www.hashima-hp.jp/



## 病院の特徴

当院は岐阜県南部にある2次救急を担う急性期医療と回復期医療を併せ持つ羽島市内唯一の公立病院です。“心のかような医療を通じて地域に貢献します”を病院理念とし、地域の人々の健やかな暮らしをお守りしています。また、一刻を争う救急医療をはじめ27の診療科を標榜し、最新レベルの医療機器や設備を備え、高度な検査や治療が速やかにできる体制を整えています。当院では、患者さん一人ひとりに対し医師、看護師、薬剤師、理学療法士など必要な分野の医療スタッフがチームを組み、情報交換などを図りながら対応するチーム医療に力を注いでおり、トータルサポートを積極的に推進しています。

## 院長メッセージ



山田卓也

羽島市民病院では、4名の新規研修医を募集いたします。当院は、新幹線・岐阜羽島駅、名神高速道路・岐阜羽島インターに近く交通が非常に便利な場所にあり、急性期医療を担当する公立（市立）の病院です。身分は市の正規職員（地方公務員）となります。現在、常勤医師は岐阜大学の出身者が多いのですが、複数の大学の出身者が研修しております。施設面では、病棟は免震・耐震構造となっており、電子カルテ運用及び画像システムを導入しています。研修は、研修医の自主性を尊重し、学会・研究会への参加を積極的に行っています（公費にて）。初期研修修了後には後期研修プログラムがあります。また、研修医専用の研修室、カンファレンス室、仮眠室（女性医師用もあり）を設置しています。救急医療センターでは、年間約2,000台の救急車を受け入れており、研修医1人あたりの救急疾患の症例は多数あります。ぜひとも、一度病院を訪問して雰囲気を確認してください。

## プログラム責任者メッセージ

当院は、羽島市（人口約7万人）及び周辺地域の中核病院であり、二次救急を担っています。年間約2,000台の救急車を受け入れており、救急の現場を十二分に経験することができます。一方、超高齢化社会の今、急性期医療だけでなく、回復期・慢性期の医療や在宅・施設入所への橋渡しも重要な仕事です。当院では地域包括ケア病棟もあり、こうした医療も学ぶことができます。当院では現在1.2年次計8名が研修生活を送っておりますが、地元岐阜大学だけではなく、様々な大学の出身者で構成されています。少人数の利点を活かし、研修プログラムは柔軟に対応可能です。中規模病院である当院では各診療科の垣根は低く、メディカルスタッフの協力も厚く、研修医1人1人に寄り添った研修を病院全体で心がけています。ある程度の時間的な余裕もあるため、疑問点を一つずつ解決しながら、忙しすぎる日々に流されることの無い充実した研修生活をすすめることと思えます。名神高速道路羽島インターチェンジや新幹線岐阜羽島駅から最も近いです。急性期から高齢者医療まで幅広い研修をお考えの方は、ぜひ一度見学にいらしてください。ご連絡をお待ちしております。

## 研修医メッセージ

当院は中規模の病院であり、標榜科の数や症例数等どうしても大病院に敵わない面があるのは事実ですが、当院と連携している病院での研修を選択することがほとんどの科で可能であり、当院の弱みを補うことができます。当院では common disease を中心に経験を積みつつ興味のある分野は大学病院等でより専門的な研修を行うなど、メリハリの効いた研修スケジュールをフレキシブルに組むことができます。

## 研修再開を希望される皆さんへ

当病院では、中途再開者の皆さんへ広く門戸を開いています。研修再開を希望される方は、当病院へお問い合わせください。

## 研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急			必修・選択科		
2年次	必修・選択科						地域医療		必修・選択科			

必修科目（内科24週、救急12週、外科4週、小児科4週、産婦人科4週、精神科4週、地域医療研修4週）の研修を行い、残りの期間には研修医の希望に沿って診療科を必修科または選択科から選択する。

## 研修協力病院・施設

岐阜大学医学部附属病院（030361）	長良医療センター（066584）
高山赤十字病院（030366）	美濃市立美濃病院
羽島市医師会立訪問看護ステーション（032817）	岐阜県赤十字血液センター（032830）
河合胃腸科クリニック（032832）	大島内科クリニック（032834）
医療法人社団 平成会 渡辺医院（032836）	（社）伝心会 特別養護老人ホーム やすらぎ苑（032839）
高山市	岐阜病院（031627）

## 後期研修・専門研修（予定）

後期研修は、各年次2名ずつ3年間計6名を募集しています。循環器内科、消化器内科、外科・消化器外科、内分泌・糖尿病内科、小児科にて後期研修プログラムを準備して応募を受け付けています。

## 研修プログラムの目標

- 日常的な疾患、外傷に対応できる基本的な診療能力を習得する。
- 適性な診断を行うために日常的な各疾患の重要性と特殊性について理解、習得する。
- 基礎的な疾患の正確な診断と安全な治療を行うための基本的な手技を習得する。
- 基礎的な疾患に対して理解を深め、必要事項を医療記録に正確に記載できる能力を習得する。

## 研修プログラムの特徴

- 24時間救急医療体制により、研修目標を早期に充実した内容で習得可能である。
- 高度の修練した指導医のもと、熟練した中堅医師から面接指導が受けられる。
- 院内で定期的開催される教育研修講演、セミナー、CPCなどに参加可能また、基礎的な研究発表を通じて手技習得に偏らない研修に配慮している。

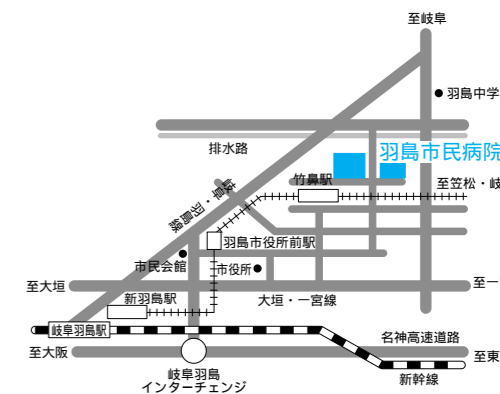
## 募集要項

- 応募資格：令和7年3月に医師免許を取得する見込みである者・医師免許取得者で、初期臨床研修を修了していないもの
- 募集人員：4名（予定）
- 身分：羽島市職員（地方公務員）
- 給与：給料1年次 約570,000円/月（手当含む）  
2年次 約590,000円/月（手当含む）  
賞与約850,000円/年（1年次）  
約1,370,000円/年（2年次）  
その他諸手当有（扶養、通勤、住居、時間外勤務手当等）
- 住居等：医師住宅有り（一部自己負担有・自治会費、光熱費、駐車場等は入居者負担）、賃貸住宅への入居者については、上限28,000円を支給
- 保険等：健康保険、年金 岐阜県市町村職員共済組合

## 連絡先

電話番号：058-393-0111  
fax：058-393-0821  
E-mail：byoin-somu@city.hashima.lg.jp

## 交通案内



名鉄竹鼻線竹鼻駅より徒歩7分



# 独立行政法人国立病院機構長良医療センター

## 病院の概要

開設時期：平成17年3月1日  
開設者：独立行政法人国立病院機構  
院長名：松久 卓  
病床数：413床  
標榜科：内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、緩和ケア内科、小児科、神経小児科、外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、麻酔科、アレルギー科  
医師数：26名  
指導医師数：7名  
外来患者数：147.9名/日  
入院患者数：271.0名/日  
所在地：岐阜市長良1300-7  
URL：http://www.hosp.go.jp/~ngr/



## 病院の特徴

- ①病院の特徴  
地域社会のニーズに対応した3つの専門的な医療を行います。  
成人系呼吸器・循環器疾患部門 呼吸器内科・呼吸器外科・循環器内科  
成育医療部門 小児科・神経小児科・小児外科  
障害児・者医療部門 筋ジストロフィー・重度心身障害

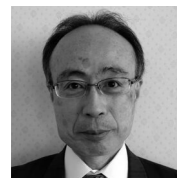
## 院長メッセージ



松久 卓

当院は、呼吸器内科、呼吸器外科、小児科、小児外科、重症心身障害者医療等を中心とする病院です。それぞれの科で専門性の高い診療を行っており、これらの科に興味ある研修医にとっては有意義な研修を提供できる病院であります。当院にない科に関しましては、岐阜市内にある朝日大学病院をはじめ他病院に行って研修を受けてもらっています。複数の病院で研修することは、それぞれ異なった環境や雰囲気を経験することでこれも有意義であると考えています。また当院は緑多き閑静な住宅地にあり、近くには長良川・金華山・岐阜城など風光明媚な場所も多くあり、落ち着いた研修ができます。

## 指導医メッセージ



安田邦彦

専門性の高い診療科が集まっており、協力病院の朝日大学病院（岐阜市内）等と提携し、経験豊かな指導医の基で十分な研修を受けられる環境と、各年次2～3名の少人数制を生かした、質の高い研修が可能です。2年次の選択研修では自主性を重んじたコースの選択が可能です。幅広い視野を持ち、医療スタッフ・患者様との人間関係を構築できる、意欲ある研修医を求めています。

## 研修医メッセージ

長良医療センターでの臨床研修の特徴は2つあります。  
1つめは、呼吸器内科、呼吸器外科、循環器内科、小児科では特に専門性が高く充実していることです。呼吸器では結核病棟を有しており、小児科では多くの分野にわたっての診療を行うなど、この病院でしか研修できないことが多々あります。また、当病院の上級医は10年目以上のベテランの医師が中心となっており、研修医の指導が充実しています。  
2つめは、募集人員が2名と少ないことです。同期が少ないことは一見するとデメリットのように思われがちですが、研修医の数が少ない分一人の研修医に対して多数の上級医に指導してもらえ、また、一人の研修医に充てられる症例の数は多くなり研修医の多い病院に比べるとより多くの経験を積むことができます。  
当院は総合病院ではないので一つの病院だけでは全部の科を修了することができず、他の協力病院でも研修を行うことになります。それは内容の違う病院を経験する機会にもなりますし、またその診療科の専門性を持った病院で研修を受ける機会にもなります。  
長良医療センターでは、研修医中心の柔軟な研修を受けることができます。

## 研修再開を希望される皆さんへ

当病院では、中途再開者の皆さんに広く門戸を開いています。研修再開を希望される方は、当病院へお問い合わせください。

## 研修スケジュール

選択科目は、長良医療センターまたは朝日大学病院で14科目の中から選択できるシステムになっております。

長良医療センター	1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
		2年次	地域	選択必修科目	内科					救急			選択必修科目	
				選択科目										

## 研修協力病院・施設

<b>研修協力病院</b> 朝日大学病院 社団法人岐阜病院 名古屋医療センター	<b>研修協力施設</b> 本巣市国民健康保険根尾診療所 岐阜ハートセンター 岐阜市民病院
--	--

## 専門研修（予定）

専門性の高い医療環境の基で、専門性の高い診療技術とそれに相応える知識と経験を積、専門医資格の取得を目指します。  
小児科：岐阜大学小児科専門医プログラム  
外科：京都大学外科専門研修プログラム  
外科：岐阜大学外科専門研修プログラム

## 研修プログラムの目標

研修医が医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず一般的な診療において頻繁にかかわる疾病に適切に対応できるよう基本的な診療能力を修得し、患者の視点に立った全人的医療のできる医師を養成する。

## 研修プログラムの特徴

- 各年次2～3名以下と少人数制のため、質の高い充実した研修が可能である。
- 当院の特徴として、呼吸器、小児、障害者の医療について十分な研修を行える体制を備えている。
- 選択研修では研修医の自主性を重んじたコースの選択が可能である。

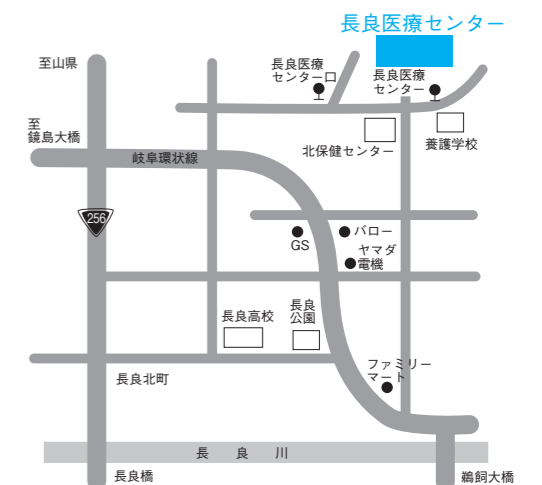
## 募集要項

応募資格：令和7年3月に医師免許を取得する見込みである者  
医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者  
募集人員：3名  
身分：期間職員  
給与：与：月給制で月額570,000円程度、時間外手当・当直手当等有り  
住居：等：病院宿舎（独身用）有ります  
保険：等：健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用

## 連絡先

電話番号：058-232-7755  
fax：058-295-0077  
E-mail：ooba.akihiko.ax@mail.hosp.go.jp  
事務担当者：事務部管理課

## 交通案内



JR 岐阜駅・名鉄岐阜駅からバスで30分



# 朝日大学病院

## 病院の概要

**開設時期**：昭和48年4月1日  
**開設者**：学校法人朝日大学  
**院長名**：日下 義章  
**病床数**：381床（稼働病床数275床）  
**標榜科**：内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、脳神経内科、放射線診断科、外科、消化器外科、乳腺外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、リウマチ科、リハビリテーション科、眼科、泌尿器科、婦人科、頭頸部外科、耳鼻咽喉科、心臓血管外科、麻酔科、病理診断科、放射線治療科、歯科、歯科口腔外科、皮膚科  
**医師数**：69名  
**指導医師数**：29名（指導医講習会受講者）  
**外来患者数**：501名／日  
**入院患者数**：198名／日  
**所在地**：岐阜市橋本町3-23  
**URL**：https://www.hosp.asahi-u.ac.jp/



## 病院の特徴

本院はJR岐阜駅から徒歩7分という交通アクセスの良い立地と専門性の高い医療を特徴としています。中規模病院であるため組織に埋没することなくヒューマンな職場環境で最適な研修環境を提供することができる病院です。

## 院長メッセージ



日下義章  
(整形外科)

朝日大学病院は24の診療科と7つの医療センターを擁する岐阜地域における中核病院であり、朝日大学の歯学部および保健医療学部の教育研究施設としての機能を併せて持ちます。

朝日大学病院の基幹をなす医療は急性期医療です。救急を含む急性期患者を積極的に受け入れて高度で専門性の高い医療を実践しています。研修医の先生には各分野の経験豊富な専門医の指導のもとに、数多くの臨床経験を積んでいただけるように配慮しています。当院では急性期を過ぎた患者さんにも回復期リハビリテーション病棟、そして地域包括ケア病棟が病院内に整備されています。このため、急性期を過ぎて亜急性期に至る患者さんの経過を診ることが可能であり、患者さんと向き合える環境があります。

私の学生時代に著名な教授の退官記念講義がありました。そこで教授は「教科書に書いてあることは嘘だと思え」と言ったのが印象的でした。乱暴なことを言う先生だと思いましたが、後に医師として経験を積み研究をしてその意味がわかりました。研修医の皆さんは、学生時代に教科書を使って莫大な量の知識を吸収してこられたことと思います。これは今後不可欠な知識であることは間違いありません。しかし、医療の現場では教科書通りに行かないことが山程あります。医学の進歩とともに教科書が書き換えられることや、究明されていないことが山積みであることに気がきます。教科書の知識を土台にして、これからは患者さんと向き合うことを大切にしてください。教科書以上に教わる機会が多くあります。常にクリエイティブな発想を持ち、疑問に思うことがあればこれを探求する心を忘れないでください。

朝日大学病院は確かな診療技術と良好なコミュニケーション能力を兼ね備え、患者さんの立場に立って物事を判断できる医師を目指して研修していただけるように、皆様を支援します。

## 指導医メッセージ

岐阜駅から徒歩7分の好立地で、急性期から生活期まで一貫した医療を研修できます。産科、小児科、精神科、心臓外科、形成外科、地域医療は専門性の高いユニークな協力病院群での研修が可能です。カスタマイズ可能な自由度の高い研修プログラムが特徴です。少人数なので指導や症例に事欠くことはありません。焦らず競わず自分のペースで研修できます。

患者さんやその家族に寄り添うことが医療の原点です。人の気持ちを汲むことができる医師になりましょう。医師人生のスタートとなる2年間を当院でぜひ。他人と同じことが正解ではなく、違いは間違いではありません。どこよりも「自分らしい」研修ができるよう、全力でサポートします。

## 研修医メッセージ

当院の魅力は自由度が高いところです。研修は必修を除けばまわりたい科を各々の好きなペースでまわることができます。また、学会参加や症例発表なども可能なので、個人個人のやる気次第でどれだけでも学ぶことができます。それに加え、バックアップ体制もしっかりしているので、救急での対応はもちろん、その他の業務などでも不安なことがあればすぐに教えていただける素晴らしい環境です。職場の雰囲気も非常に良く、何もわからない初期研修医に親切に対応していただけます。

## 研修スケジュール

下記研修スケジュールを修了し、プライマリー・ケアを中心とした基本的な診療能力を身につけることで、日常診療で遭遇する頻度の高い病気や病態に適切に対応できるようにします。

また、研修環境は、消化器内科では内視鏡的手術、循環器内科では心臓カテーテル、外科では腹腔鏡手術及び脳神経外科では脳血管内手術と日常はもとより緊急時にも対応できる環境にあります。

協力的な病院等、各施設の専門性をいかんなく発揮し、充実した研修ができるスケジュールです。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						小児科	産婦人科	外科	救急		
2年次	精神科	地域医療	選択科									

## 研修協力病院・施設

独立行政法人国立病院機構 長良医療センター  
高山赤十字病院  
医療法人静風会大垣病院  
岐阜市民病院  
医療法人社団 いちだクリニック  
医療法人杏野会各務原病院

医療法人澄心会 岐阜ハートセンター  
社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院  
あいち小児保健医療総合センター  
本巣市国民健康保険 根尾診療所  
岩砂病院・岩砂マタニティ

## 後期研修

本院整形外科は、研修プログラムの認定を受け、地域Ⅱ型基幹病院となり、昭和大学と連携しながら、地域医療に貢献できるプライマリー・ケアから療養・介護を含む老人医療を担える、幅広い視野をもった整形外科医を育てることを目標とし、専門研修を行っています。

また、その他の診療科についても連携施設として、岐阜大学医学部附属病院、京都府立医科大学病院、名古屋大学医学部附属病院などの基幹病院と連携して専門研修を行うことができます。

## 研修プログラムの目標

朝日大学病院の理念に基づき、研修医が医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に係わる疾患に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を修得し、確かな医療技術を持ちつつ、患者の視点に立った全人的医療のできる医師を養成する。

## 研修プログラムの特徴

- 完全マンツーマンの研修体制  
(少人数制だからこそ指導医を独り占めできる。各科1人のみの受入れにより指導体制を強化)
- フレキシブルな研修プログラム  
(事前に決められた科を回るのではなく、その都度行きたい科を自分で選択できるため、自由度が高く満足のいく研修が可能)

## 募集要項

**応募資格**：令和7年3月に医師免許を取得する見込みである者  
医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者（原則として取得後1年以内）

**募集人員**：4名  
**身分**：臨床研修医  
**給与**：①基本給 434,400円  
②その他手当：通勤手当、宿日直手当、住居手当、超過勤務手当  
③期末手当 1年次 837,900円 2年次 1,077,300円  
年間支給総額：1年次(7,200,000円)、2年次(7,400,000円)

**住居**：等：宿舎なし ただし、規程に基づき住居手当支給  
**保険**：等：雇用・労災・健康・厚生

## 連絡先

電話番号：058-254-0907（管理課直通）  
fax：058-253-7039  
E-mail：k-kawai@hosp.asahi-u.ac.jp

## 交通案内





(2023年10月に揖斐厚生病院から新築移転します)

# 岐阜県厚生農業協同組合連合会岐阜・西濃医療センター西濃厚生病院

## 病院の概要

開設時期：昭和27年2月1日  
開設者：岐阜県厚生農業協同組合連合会  
院長名：西脇 伸二  
病床数：400床（一般急性期：293床、回復期：82床、緩和ケア：25床）

標榜科：内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・血液内科・糖尿病・内分泌内科・リウマチ科・脳神経内科・緩和ケア内科・小児科・外科・緩和ケア外科・乳腺外科・整形外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・婦人科・麻酔科・歯科・小児歯科・歯科口腔外科・放射線科・心療内科・精神科・リハビリテーション科

医師数：31名  
指導医師数：25名  
外来患者数：364.1人/日※  
入院患者数：155.7人/日※  
所在地：揖斐郡大野町下磯293番地1  
URL：http://www.ibi.gfkosei.or.jp/  
※令和4年度揖斐厚生病院実績



## 病院の特徴

揖斐北西部に位置する総合病院となります。診療圏は、西濃医療圏に属し、揖斐郡3町を中心として、近隣の神戸町、本巣市等を含めた広い地域を医療圏としています。

急性期から慢性期まで幅広く医療を提供し、関連施設として、内視鏡センター、人工透析センター、健診センター、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所を有し、地域完結型の医療を実現しています。

## 院長メッセージ



西脇伸二

西濃厚生病院は2023年10月に新築移転し、岐阜・西濃医療圏の基幹病院としてオープンしました。東海環状自動車道、大野神戸インター直東に位置する400床の総合病院です。急性期病床293床の他、回復期リハビリ病床、地域包括病床、緩和ケア病床を有し急性期のみならず回復期や終末期の医療も行っています。

新たにDMAT隊を結成し災害時の医療に対応しており、救急医療にも力を入れ様々な急性期疾患を経験することが出来ます。がん診療においても最新のAIを用いた内視鏡診断装置をはじめ、PET-CTや放射線治療装置も整備し、がんの早期発見・診断から高度な治療、緩和医療まで包括的に行うことができます。病棟でもAIを積極的に導入し、スマートベッドやスマートフォンと電子カルテのリンクなどを行うことにより効率的に診療情報を共有できるシステムを構築しています。

一方、地域の開業医や山間部の診療所との連携が強く、医師派遣や人事交流も行いながら地域完結型の医療を行っています。研修中には山間部の診療所での診療も体験していただき、地域医療の大切さを実感できると思います。揖斐厚生病院時代と同様に小回りの利く家庭的な雰囲気も維持しており、初期研修として人情味のある医師を育成していきたいと考えています。

このように初期研修期間中に様々な医療を経験することが出来ますので、将来自分の専攻する診療科を考える絶好の機会となります。ぜひ病院見学にも足を運んでいただき、職場の雰囲気などを体験してください。

## 指導医メッセージ

教育とは、あらゆる知識はすでに内在していることを気づかせることである、との考えがあります。研修期間で患者さんの気持ちに寄り添いチーム医療を実践しつつ、マニュアル通りではない臨機応変力を養っていただきたいです。新病院となり、令和6年度より、臨床研修医の枠が4人に増えます。新人のひたむきに患者さんや仕事に向き合う姿にはいつも心にとくるところです。1人1人の個性に合わせた指導ができればいいなあ、と思っています。

かつて私が揖斐病院に赴任の際、当時の日江井院長先生はこう言われました。「ここではしたいことは何をしてもいい。なんでも出来る。しかし何もやらなければそれで済んでいく」と。この精神は今も残っていると感じています。 文責 外科 熊澤伊和生

## 研修医コメント

当院での初期研修は、各自の目標やペースに合わせてスケジュールを組むことができます。興味のある分野を中心に様々な症例をマンツーマンでの丁寧な指導を受けながら経験することができます。また、新病院となり研修医にとっても大変充実した環境となりました。当院に興味を持たれた方は、是非気軽に病院見学にいらして下さい。

西濃厚生病院の特色は、病院全体の雰囲気が温かいことです。医師や多職種のスタッフと和気あいあいとしながら、家庭的な雰囲気です。研修を行っています。わからないことがあれば、指導医だけでなく、薬剤師や看護師など他のスタッフが温かく教えて下さいます。また、科の垣根が低いので、ローテ中の科に縛られることなく、他科の検査や処置に入ることができることも特徴です。

初診で診察した患者の担当医となり、指導医と共に治療プランを考えます。初診の診察やICを行うなかで、医療面接の力が身に付いてくるのを実感します。地域医療に携わりたい方は、是非新しい施設となった当院での研修を考えてみませんか。

## 研修再開を希望される皆さんへ

当院では、中途再開者の皆さんに広く門戸を開いています。研修再開を希望される方は、当院へお問い合わせください。

## 研修スケジュール

チーム医療の一員として医師の役割を認識する。疾病を診るのではなく、患者の心情・背景など踏まえた一人の人間としての優しさ・思いやりのある医師の育成を目指す。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
揖斐厚生病院 初期臨床研修 プログラム	1年次	内科〔26週〕 うち一般外来研修〔2週〕					救急〔12週〕			外科〔5週〕 うち一般外来〔1週〕	小児科〔5週〕 うち一般外来研修〔1週〕	緩和科〔4週〕
	2年次	精神科〔4週〕	地域医療〔4週〕	必須分野または選択科								

## 臨床研修協力病院・協力施設

○協力病院  
岐阜大学医学部附属病院  
社会医療法人緑峰会 養南病院  
JA 岐阜厚生連 中濃厚生病院

○協力型施設  
岩砂病院・岩砂マタニティー  
揖斐郡北西部地域医療センター  
岐阜ハートセンター  
JA 岐阜厚生連 飛騨医療センター 久美愛厚生病院

JA 岐阜厚生連 東濃中部医療センター 東濃厚生病院  
JA 岐阜厚生連 岐阜・西濃医療センター 岐北厚生病院  
JA 岐阜厚生連 岐阜・西濃医療センター 西美濃厚生病院

## 研修プログラムの目標

医師としての人格をかん養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身に付けること。

## 研修プログラムの特徴

当院の最大の特徴は、各診療科を超えて医師同士の横の連携が大変密に行えるところにあります。この特徴を活かし、少人数の研修医を各科の研修中であっても他科の貴重な症例を見学ではなく体験させることにより、小回りのきく、きめ細かな研修が可能なプログラム構成となっています。また、選択期間を長く設定することにより、将来の診療科の決定に向けた自分に合ったプログラムを組むことが可能であり、一人の医師として専門医に走りすぎることなく、病院全体のスタッフとしての役割の重要性・協調性を体験し、総合的な病態を把握する習慣を身に付けることを主眼に置いています。

## 募集要項

応募資格：令和7年3月医師免許を取得する見込みである者  
医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者

募集人員：4名  
身分：常勤嘱託医師  
給与：与：年収680～750万円程度（基本給・賞与・諸手当を含む。）  
住居等：住居手当支給  
保険等：健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険・医師賠償責任保険

## 連絡先

連絡先：西濃厚生病院 企画総務課  
TEL：0585-36-1110  
FAX：0585-36-3100  
E-mail：ibihp@gfkosei.or.jp

## 交通案内





# 多治見市民病院

## 病院の概要

**開設時期**：昭和43年4月1日  
**開設者**：高木 貴行  
**院長名**：今井 裕一  
**病床数**：250床  
**標榜科**：内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、リウマチ科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、血液内科、神経内科、肝臓内科、外科、乳腺外科、小児科、小児外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、形成外科、胸部外科、腎移植外科、婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、病理診断科

**医師数**：41名  
**指導医師数**：19名  
**外来患者数**：307名／日  
**入院患者数**：189名／日  
**所在地**：岐阜県多治見市前畑町3-43  
**URL**：http://kouseikai-tajimi-shimin.jp



## 病院の特徴

当院は、岐阜県東濃地区の中核都市である多治見市（人口約11万人）にあります。救急医療から common disease などのプライマリケアまで幅広い症例を経験し、初期臨床研修の到達目標を十分達成できます。当院では、将来、どの専門領域を専攻しても、高齢者医療の実践ができることを到達目標に掲げています。また、恵那市国民健康保険岩村診療所あるいは揖斐郡北西部地域医療センターの地域医療を実習し、地域包括的な医療を経験できます。さらに、愛知医科大学病院、岐阜大学医学部附属病院、中部国際医療センターと強い連携を結んでおり、それらの病院での高度で最先端な医療に触れることもできます。

## 院長メッセージ



今井 裕一

当院は、1974年から市立多治見市民病院として地域医療を担ってきましたが、2010年4月から社会医療法人厚生会が指定管理を受けました。2012年8月1日から新病院での診療を行っています。私は、2017年4月から病院長に就任し、直ちに研修病院としての体制を整備し、2019年度から基幹型研修病院としてマッチングに参加しています。到達目標は、「高齢者医療を実践できる」にしています。救急外来で問診・診察・検査を行い、指導医と相談しながら medical decision を修得します。そして入院患者の診断と治療を行い、患者・家族に説明を実践します。事務と連携して退院調整して無事退院するまでの一連の流れを経験します。これを積み重ねることで経験値が上昇します。水曜日17時からは、内科総合カンファランスを行っています。診療科の垣根もなくコンサルトできます。さらに高齢者の呼吸器感染症・尿路感染症は、内科医全員が診療にあたり、総合的な臨床能力は確実にアップします。そのうえで、サブスペシャリティの専門医・指導医から消化器内科、循環器内科、腎臓内科、リウマチ膠原病内科、呼吸器内科、神経内科の知識とノウハウを教わります。外科は、消化器外科・呼吸器外科・乳腺外科があります。消化器内科と消化器外科の連携もよく、合同カンファランスで手術予定も迅速に決定されます。整形外科では、人工関節センターがあり、多数の患者の診療にあたっています。医師としての第一歩を是非当院でスタートしましょう。皆さんのステップアップを病院全体でサポートします。

## 指導医メッセージ

当院の臨床研修の特徴は、①1年目は、内科で5ないし6か月、麻酔科2か月、救急部門で2か月研修し、医師としての基本を身につけます。単に4週毎にローテーションするスタイルはとりません。しかも、それぞれの研修医に適したスケジュールを調整します。②2年目には自由に選択できる期間が10か月と長く、自分自身で判断して将来の進路を見据えた選択期間としています。③2021年度からは、1学年4名枠ですが、個別の指導、形成評価を行ないつつスケジュールの調整を行ないます。④当院では、さらに当院にない診療科を選ぶ場合も、愛知医科大学病院・岐阜大学医学部附属病院あるいは中部国際医療センターで研修することも可能です。

## 研修医メッセージ

当院の初期研修プログラムは、内科研修・救急科研修から始まります。救急科研修では、ウォークイン・救急搬送患者のファーストタッチを行います。指導医の先生のもとで診察・検査を行い、病態の把握に努め、入院の必要性の有無を判断します。

内科研修では、入院が必要な患者さんの主治医として、指導医の先生とも相談しながら治療にあたります。各診療科をローテートしていく事になりますが、診療科が変わったとしても、引き続き主治医として同じ患者さんを受け持つことが出来ます。これにより、一人の患者さんが入院してから退院するまでの一連のプロセスを、主体性を持って経験することが出来ます。

また、当院の研修プログラムでは、厚生労働省が定める研修カリキュラムには準拠しつつも、ローテートする診療科の選択・順番・期間などの希望を相談して、自分に合った研修を行うことができます。各々の研修医の意向を汲み、一人一人に合った研修スケジュールを調整できる柔軟性は当院ならではの魅力だと思います。

最後に当直についてです。当直明けには朝カンファランスが開かれ、当直帯に受診された患者さんについての症例検討を行います。今井病院長、研修医の仲間たちと振り返りを行い、様々な角度からのフィードバックを得ることができます。

是非一度見学に来て、実際に当院の雰囲気を感じてみてください。お待ちしております！

## 研修スケジュール

	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40	42	44	46	48	50	52
1年目	内科 24週												救急科 12週				麻酔科 4週		小児科 4週		産婦人科 4週		外科 4週			
	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40	42	44	46	48	50	52
2年目	内科 4週				地域 4週				精神 4週				選択 40週													

- 産婦人科、精神科を協力病院にて各4週間研修。
- 地域研修は岐阜県恵那市の岩村診療所又は揖斐郡北西部地域医療センター。
- 1年次後半より週1日一般外来開始。
- 選択科目40週のうち24週は、当院以外の愛知医科大学病院、岐阜大学医学部附属病院、中部国際医療センター、岐阜県立多治見病院及びのぞみの丘ホスピタルでの選択科目から選択して研修することもできます。
- 救急当直研修は、1カ月約4回で、2年間（24カ月）で約96回行います。

## 研修協力病院・施設

愛知医科大学病院  
岐阜大学医学部附属病院  
中部国際医療センター  
のぞみの丘ホスピタル  
地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院  
恵那市国民健康保険岩村診療所  
揖斐郡北西部地域医療センター

## 後期研修・専門研修

当院では、内科、外科、整形外科、小児科、麻酔科、皮膚科、眼科、病理診断科での専門研修が可能です。特に内科プログラムは2021年度から基幹型プログラムがスタートしています。さらに中部国際医療センター、岐阜市民病院、愛知医科大学病院、岐阜大学医学部附属病院などと連携しています。外科は岐阜大学・愛知医科大学プログラム、整形外科と小児科は愛知医科大学プログラムになります。さらに、内科系サブスペシャリティ専門医では、腎臓専門医、リウマチ専門医、内分泌代謝内科の教育病院ですが、その他の内科系サブスペシャリティ専門医も取得が可能です。

## 研修プログラムの目標

プログラム終了時点で、確実に高齢者医療を実践できるようになります。主担当医となり患者の入院から退院までの経過を一貫して診療にあたります。

## 研修プログラムの特徴

- ①救急対応能力、②十分な手技の習得、③患者・家族への説明、④当直明けのカンファランス、⑤外来診療の実践、⑥選択診療科の調整可能、⑦長期間の自由選択

## 募集要項

**応募資格**：令和7年3月に医師免許を取得する見込みである者  
**募集人員**：1年次4名  
**身分**：常勤（臨床研修医師）  
**給与**：与 ※副当直手当は別途支給  
初期研修1年目 700万円／年（諸手当含む）  
初期研修2年目 850万円／年（諸手当含む）  
**住居**：等 2DKアパート（家賃21,000円）／月、駐車場完備、エアコン完備 又は家賃補助（住宅手当を支給（上限25,000円）※単身者のみ）  
**保険**：等 健康保険加入、厚生年金、雇用・労災保険加入、医師賠償責任保険に病院で加入（個人加入は本人による）

## 連絡先

**担当者**：青山  
**電話番号**：0572-22-5211（内線）  
**FAX**：0572-24-0705  
**E-mail**：resident@kouseikai-tajimi-shimin.jp

## 交通案内





## 岐阜県における主な医療状況

### 1 県内の医師数の状況

岐阜県の医療施設従事医師数は、徐々に増加しています。

	平成20年	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年	平成30年	令和2年
医療施設従事医師数	3,734人	3,933人	4,028人	4,141人	4,223人	4,295人	4,442人

また、人口10万人当たりの医療施設従事医師数は、岐阜医療圏では全国平均を上回っていますが、それ以外の4医療圏では全国平均を下回っています。

	H30 (a)	R2 (b)	(b) - (a)	人口10万人あたり		
				H30 (c)	R2 (d)	(d) / (c)
岐阜	2,188人	2,312人	124	275.3	291.3	1.058
うち岐阜市	1,565人	1,669人	104	388.3	414.6	1.068
西濃	608人	618人	10	166.9	172.4	1.033
中濃	620人	626人	6	168.2	171.8	1.021
東濃	616人	619人	3	187.7	191.3	1.019
飛騨	263人	267人	4	183.0	192.2	1.050
合計	4,295人	4,442人	147	215.1	224.5	1.044
全国	311,963人	323,700人	11,737人	246.7	256.6	1.040

### 2 医師臨床研修の状況

〈H30～R5 採用実績〉

(各年度4月1日現在)

H30採用		H31採用		R2採用		R3採用		R4採用		R5採用	
募集定員	採用実績	募集定員	採用実績	募集定員	採用実績	募集定員	採用実績	募集定員	採用実績	募集定員	採用実績
172人	137人	178人	142人	176人	138人	206人	143人	196人	149人	191人	144人

※採用実績には再開者を含む。

### 3 岐阜県医師育成・確保コンソーシアム

岐阜大学医学部と県内21構成病院が中心となり、医師育成を通じた地域医療の確保を目指して結成されたシステムです。

コンソーシアムでは、県内の医療機関での臨床研修と、その後のキャリアアッププログラムを提供し、医師が安心して自分自身の成長を実感できるような医療現場となるよう、岐阜県医学生修学資金貸付制度とも一体的に運用し、施設間の調整を行っています。

〈臨床研修等実施者数（修学資金受給者）〉

(各年度4月1日現在)

	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
臨床研修実施者数	63人	67人	79人	78人	69人	71人	75人
業務従事者数	54人	84人	111人	141人	181人	202人	221人
業務従事修了者数	26人	30人	30人	35人	38人	53人	62人
計	143人	181人	220人	254人	288人	326人	358人

※修学資金受給者のうち、令和5年4月1日現在、県内の医療機関において75人が臨床研修を行い、221人が業務に従事しています。

お問い合わせは、岐阜県庁医療福祉連携推進課医療人材確保係  
 【電話番号】058-272-8879 【E-mail】c11230@pref.gifu.lg.jp  
 までお気軽にどうぞ